

2016年度（17年3月期） 第3四半期 決算概要

2017年1月30日

日本電気株式会社

(<http://jpn.nec.com/ir>)

目 次

I.第3四半期 決算概要

II.業績予想

第3四半期 決算概要（補足）

業績予想（補足）

参考資料

※ 「当期損益」は、「親会社の所有者に帰属する当期損益」の金額を表示

I .第3四半期 決算概要

(億円)

	第3四半期 <10～12月>		
	15年度 実績	16年度 実績	前年 同期比
売上収益	6,449	5,934	△ 8.0%
営業損益	87	△ 208	△ 294
対売上収益比率 (%)	1.3%	-3.5%	
税引前損益	135	△ 142	△ 277
当期損益	48	△ 160	△ 208
対売上収益比率 (%)	0.7%	-2.7%	

第3四半期累計期間 <9カ月>		
15年度 実績	16年度 実績	前年 同期比
19,546	17,945	△ 8.2%
277	△ 170	△ 447
1.4%	-0.9%	
333	△ 16	△ 349
134	△ 28	△ 163
0.7%	-0.2%	

フリー・キャッシュ・フロー	△ 584	△ 402	+ 182
---------------	-------	-------	-------

△ 490	68	+ 558
-------	----	-------

参考：平均為替レート (円)	1 ド ル	120.96	104.64
	1 ュ ー ロ	133.82	115.14

セグメント別 第3四半期実績サマリー

第3四半期
(3カ月/9カ月)

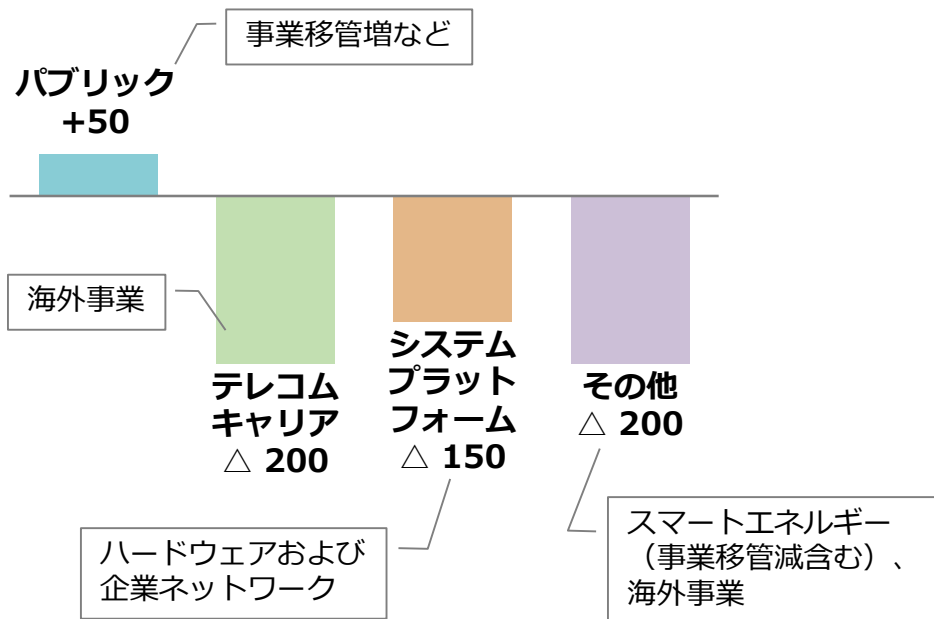
(億円)

		第3四半期 <10~12月>			第3四半期累計期間 <9カ月>		
		15年度 実績	16年度 実績	前年 同期比	15年度 実績	16年度 実績	前年 同期比
パブリック	売上収益	1,637	1,535	△ 6.2%	4,994	4,357	△ 12.8%
	営業利益	100	11	△ 89	244	145	△ 100
	営業利益率 (%)	6.1%	0.7%		4.9%	3.3%	
エンタープライズ	売上収益	717	700	△ 2.4%	2,184	2,252	+ 3.1%
	営業利益	43	37	△ 6	141	169	+ 28
	営業利益率 (%)	6.0%	5.3%		6.5%	7.5%	
テレコムキャリア	売上収益	1,594	1,413	△ 11.4%	4,875	4,241	△ 13.0%
	営業損益	85	△ 13	△ 98	212	29	△ 183
	営業利益率 (%)	5.3%	-1.0%		4.4%	0.7%	
システム プラットフォーム	売上収益	1,710	1,643	△ 4.0%	5,189	5,041	△ 2.8%
	営業損益	25	△ 2	△ 27	117	76	△ 41
	営業利益率 (%)	1.5%	-0.1%		2.3%	1.5%	
その他	売上収益	790	643	△ 18.6%	2,304	2,054	△ 10.9%
	営業損益	△ 55	△ 67	△ 12	△ 80	△ 139	△ 60
	営業利益率 (%)	-6.9%	-10.4%		-3.5%	-6.8%	
消去・配賦不能	営業損益	△ 111	△ 174	△ 63	△ 359	△ 450	△ 92
	売上収益	6,449	5,934	△ 8.0%	19,546	17,945	△ 8.2%
	営業損益	87	△ 208	△ 294	277	△ 170	△ 447
	営業利益率 (%)	1.3%	-3.5%		1.4%	-0.9%	
合 計							

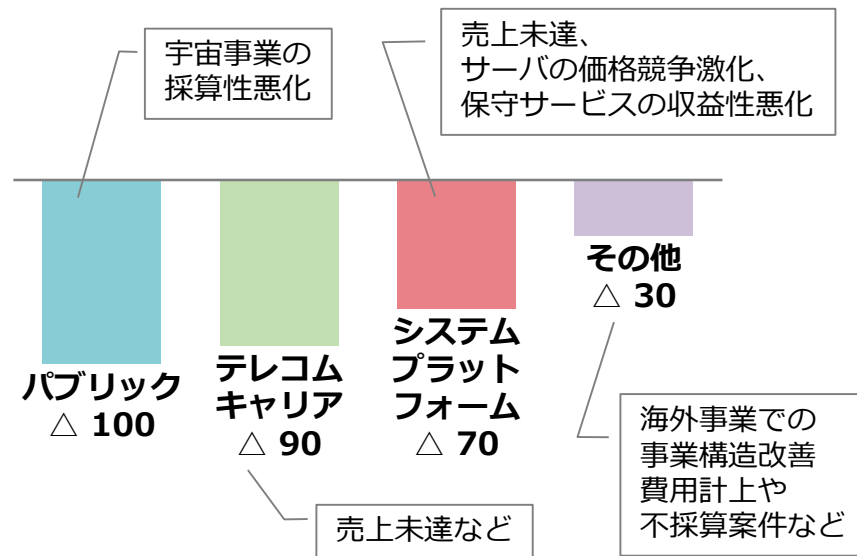
売上目標の未達に加え、個別事業の採算性や収益性が悪化

(億円)

売上収益 △500



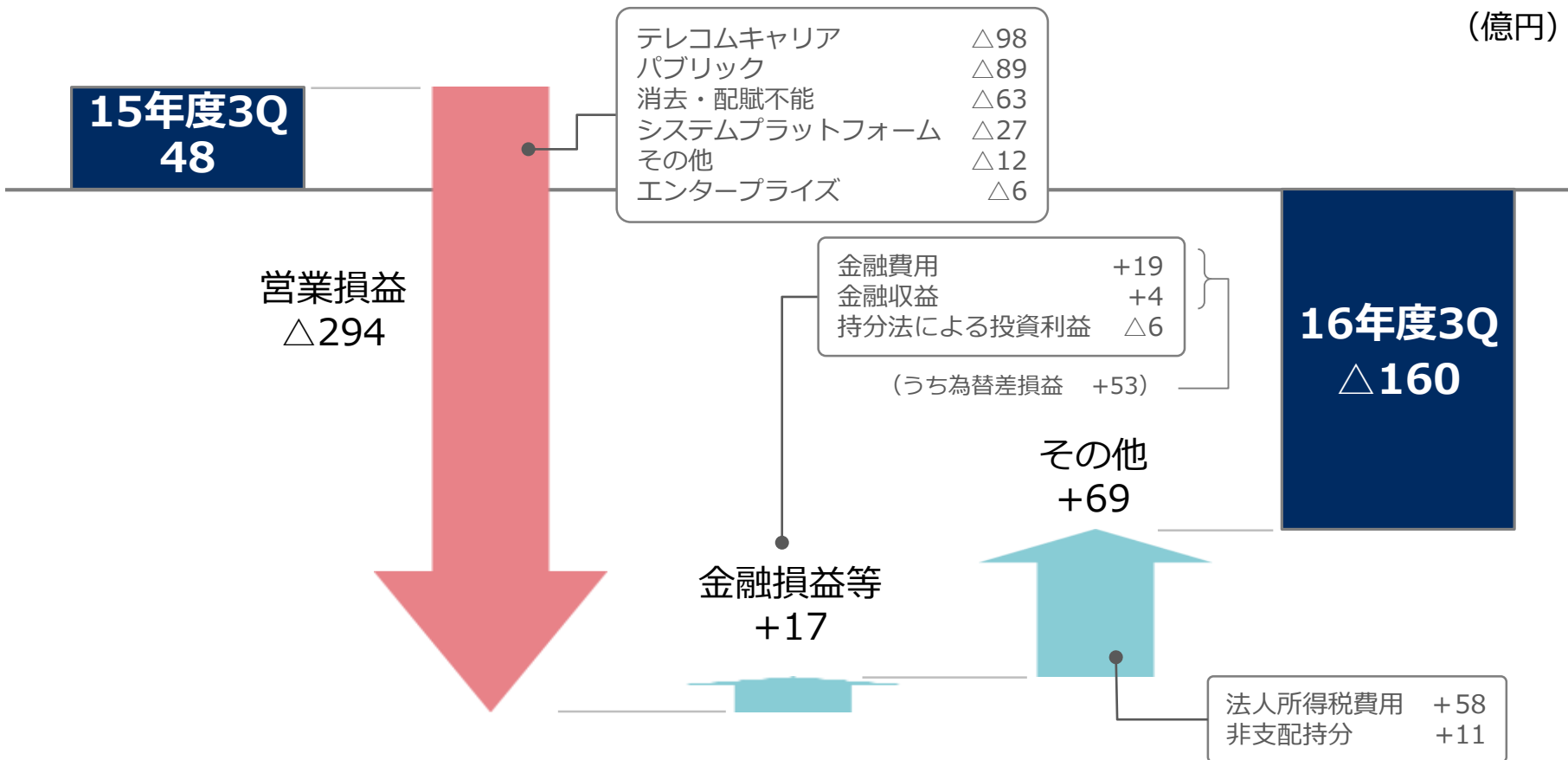
営業損益 △290



※ 計画値は、2016年10月31日時点での3Q見通し

当期損益増減（前年同期比）

第3四半期
(3カ月)



Ⅱ.業績予想

業績予想の修正

上期決算時点で想定した変動要因の見極めを実施し、業績予想を修正

<上期決算資料より>

年間予想における変動要因（主なポイント）

業績に影響を与える複数の変動要因の見極めが必要

■ レノボNECホールディングス社の株式の一部譲渡（実施済）

■ 日本航空電子工業に対する公開買付け（今後開始予定）

■ 第3四半期以降の事業の進捗

- パブリック：航空・宇宙防衛領域における案件進捗、不採算案件の抑制など
- エンタープライズ：国内IT投資の見通し、収益性改善の進捗など
- テレコムキャリア：国内外通信事業者の設備投資動向、為替変動の影響など
- システムプラットフォーム：ハードウェアを中心とした売上収益の拡大など
- その他：スマートエネルギー事業の損益改善、海外事業の拡大など

※ 予想は、2016年10月31日現在

<今回見極め>

公開買付け成立
（第4四半期から連結子会社化）

第3四半期の売上収益、
営業利益が計画未達、
第4四半期の見通しも
厳しい



※ 2017年1月30日現在

新たな業績予想を達成し、年間6円の配当継続を実現

(億円)

	第4四半期 <1~3月>			通期			10/31 予想比
	15年度 実績	16年度 予想	前年 同期比	15年度 実績	16年度 予想	前年度比	
売上収益	8,703	8,855	+ 1.8%	28,248	26,800	△ 5.1%	△ 2,000
営業利益	637	470	△ 167	914	300	△ 614	△ 700
対売上収益比率 (%)	7.3%	5.3%		3.2%	1.1%		
当期利益	625	228	△ 397	759	200	△ 559	△ 300
対売上収益比率 (%)	7.2%	2.6%		2.7%	0.7%		
フリー・キャッシュ・フロー	1,146	732	△ 414	656	800	+ 144	+ 200
1株当たり配当金 (円)				6.00	6.00	0.00	0.00

※ 16年度4Qの為替レート前提 1ドル=105円、1ユーロ=115円

※ 予想値は、2017年1月30日現在

セグメント別 業績予想サマリー

通期予想

(億円)

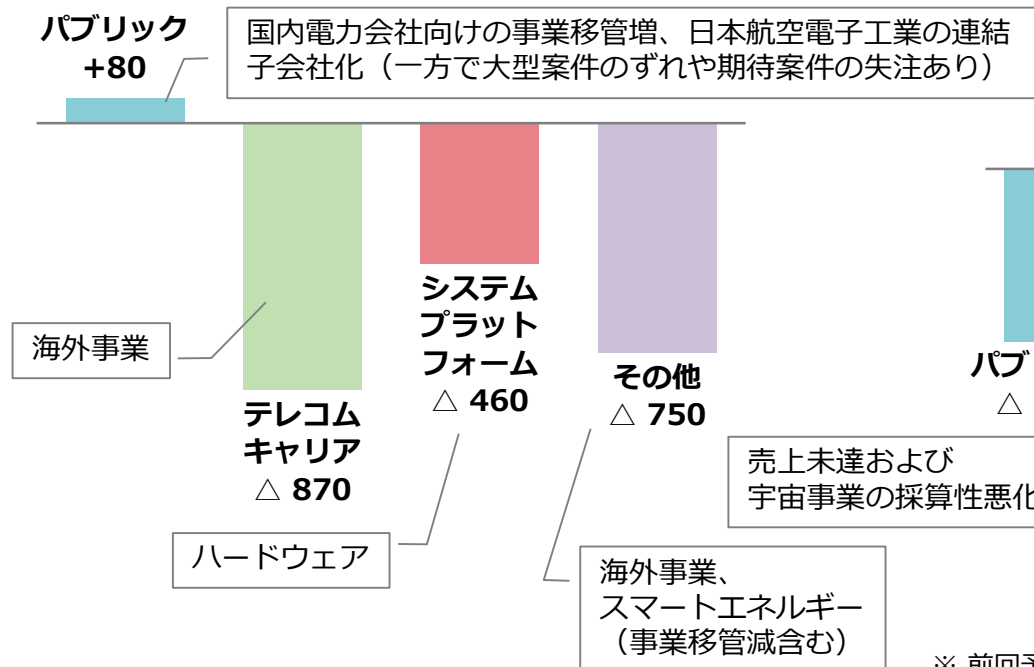
		第4四半期 <1~3月>			通期			10/31 予想比
		15年度 実績	16年度 予想	前年 同期比	15年度 実績	16年度 予想	前年度比	
パブリック	売上収益	2,722	3,074	+ 12.9%	7,716	7,430	△ 3.7%	+ 80
	営業利益	328	295	△ 33	573	440	△ 133	△ 250
	営業利益率 (%)	12.1%	9.6%		7.4%	5.9%		
エンタープライズ	売上収益	819	798	△ 2.6%	3,003	3,050	+ 1.6%	0
	営業利益	98	61	△ 37	239	230	△ 9	+ 40
	営業利益率 (%)	11.9%	7.7%		8.0%	7.5%		
テレコムキャリア	売上収益	2,100	1,939	△ 7.7%	6,975	6,180	△ 11.4%	△ 870
	営業利益	253	136	△ 117	465	165	△ 300	△ 315
	営業利益率 (%)	12.0%	7.0%		6.7%	2.7%		
システム プラットフォーム	売上収益	2,097	2,049	△ 2.3%	7,286	7,090	△ 2.7%	△ 460
	営業利益	200	159	△ 41	317	235	△ 82	△ 85
	営業利益率 (%)	9.6%	7.8%		4.4%	3.3%		
その他	売上収益	964	996	+ 3.3%	3,268	3,050	△ 6.7%	△ 750
	営業損益	△ 102	14	+ 117	△ 182	△ 125	+ 57	△ 135
	営業利益率 (%)	-10.6%	1.4%		-5.6%	-4.1%		
消去・配賦不能	営業損益	△ 140	△ 195	△ 55	△ 498	△ 645	△ 147	+ 45
	売上収益	8,703	8,855	+ 1.8%	28,248	26,800	△ 5.1%	△ 2,000
	営業利益	637	470	△ 167	914	300	△ 614	△ 700
	営業利益率 (%)	7.3%	5.3%		3.2%	1.1%		
合	計							

※ 予想値は、2017年1月30日現在

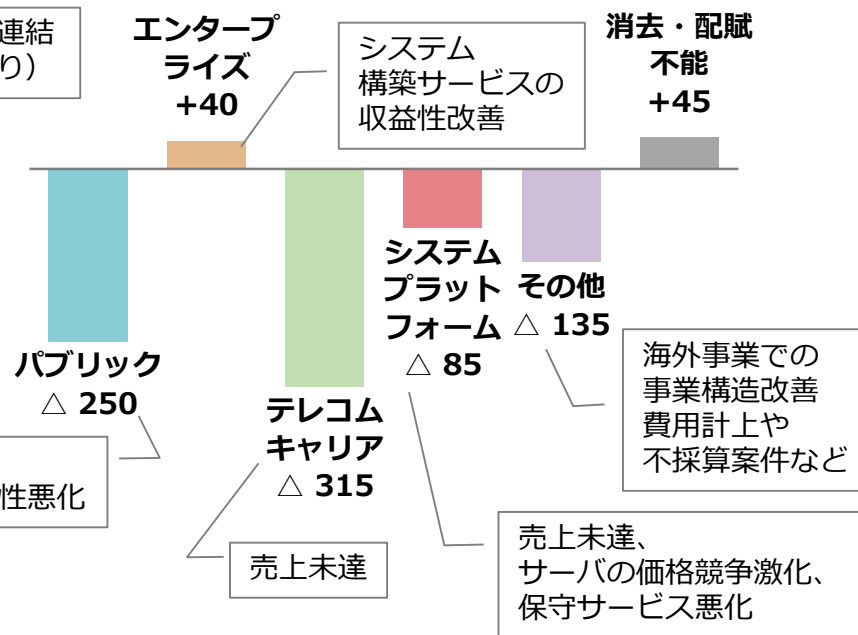
受注・売上案件を総点検、個別事業の採算性・収益性悪化も織り込み

(億円)

売上収益 △2,000



営業利益 △700

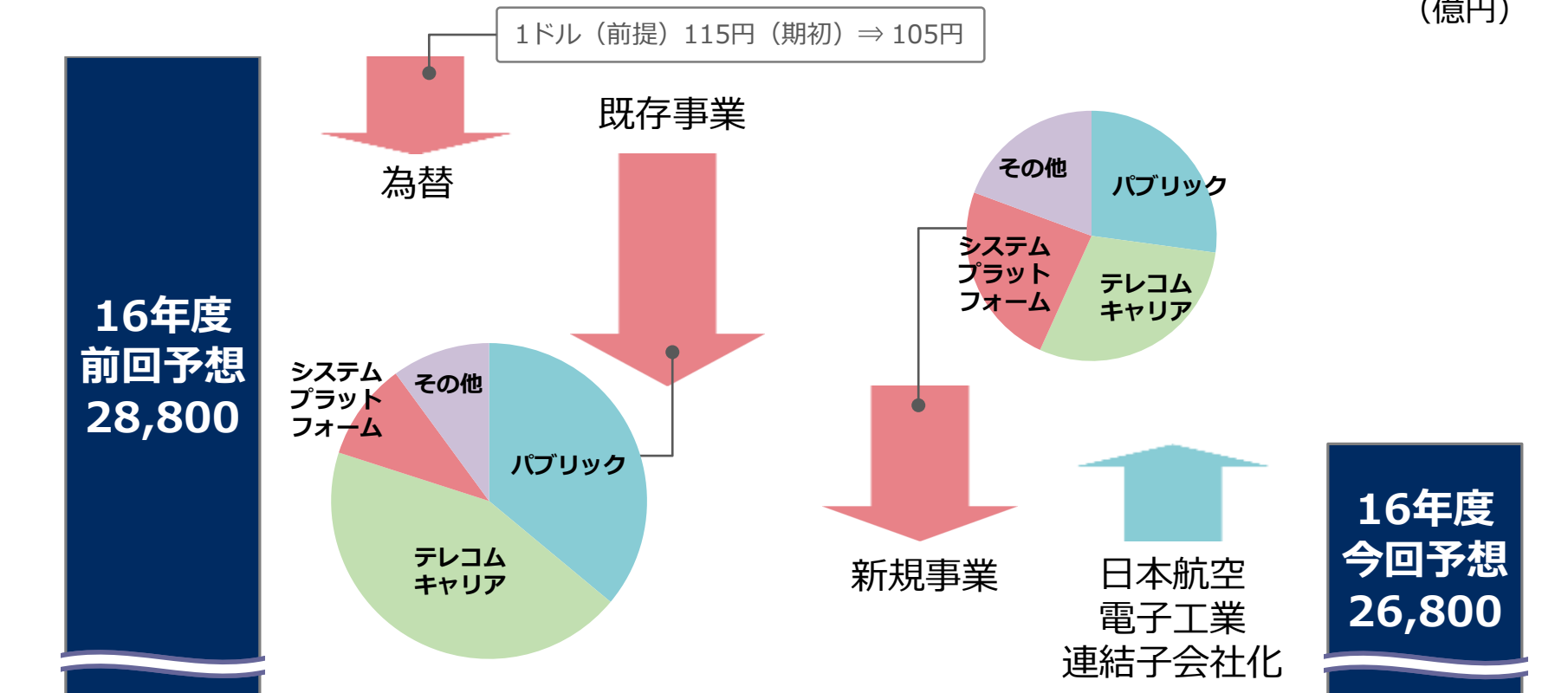


※ 前回予想は2016年10月31日現在、今回予想は2017年1月30日現在

売上収益予想 前回予想との差異（イメージ）

通期予想

（億円）

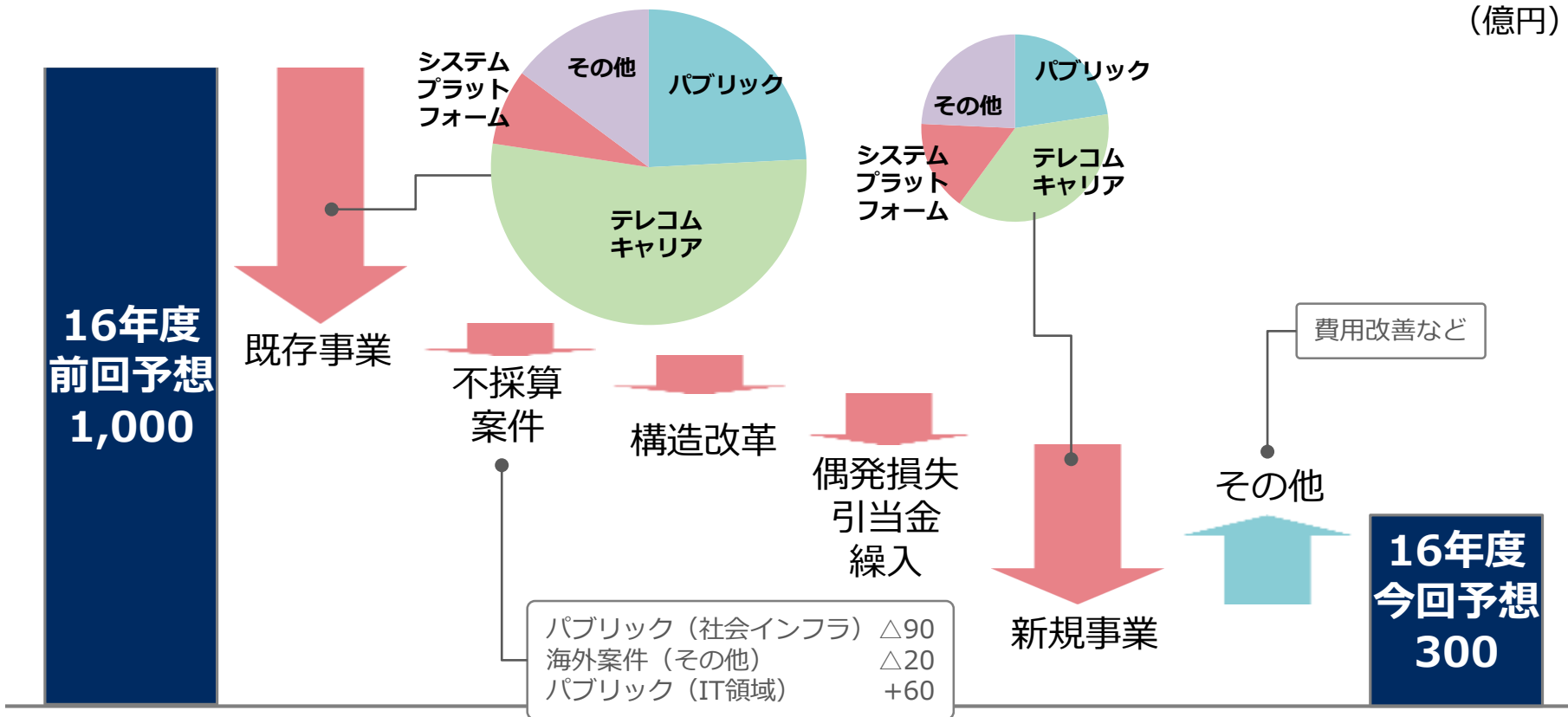


※ 前回予想は2016年10月31日現在、今回予想は2017年1月30日現在

営業利益予想 前回予想との差異（イメージ）

通期予想

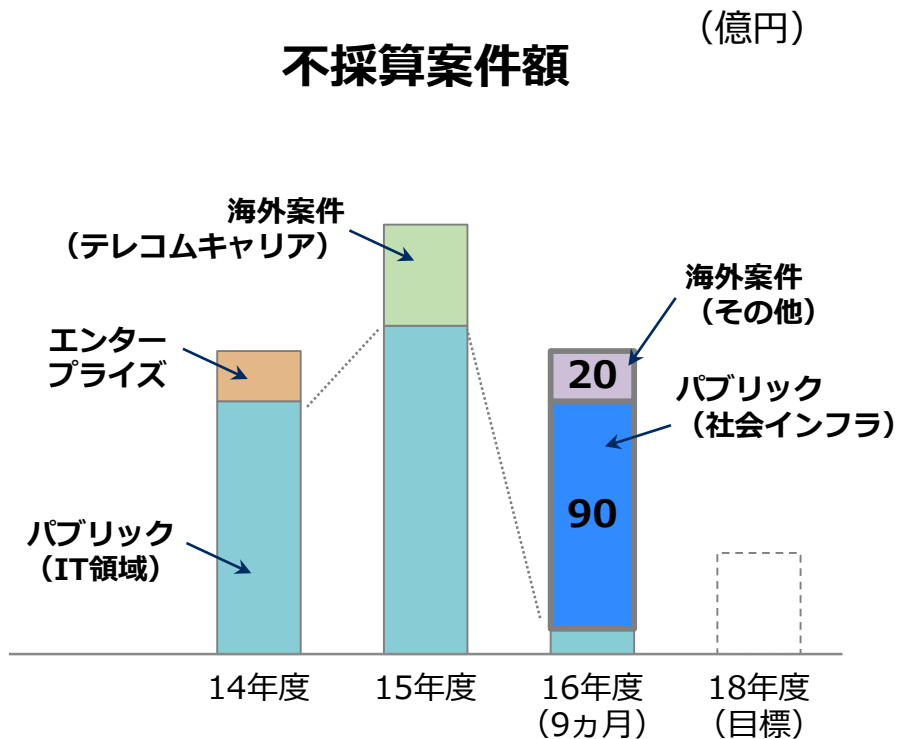
（億円）



※ 前回予想は2016年10月31日現在、今回予想は2017年1月30日現在

不採算案件への対応

IT領域の不採算案件が大幅減も、社会インフラや海外で損失を計上



発生の原因

- 社会インフラ領域：第三者による技術リスク検証の不足、プロジェクトリスク管理におけるITシステム化遅れ
- 海外領域：新規性の強い領域での体制不足

対策の強化

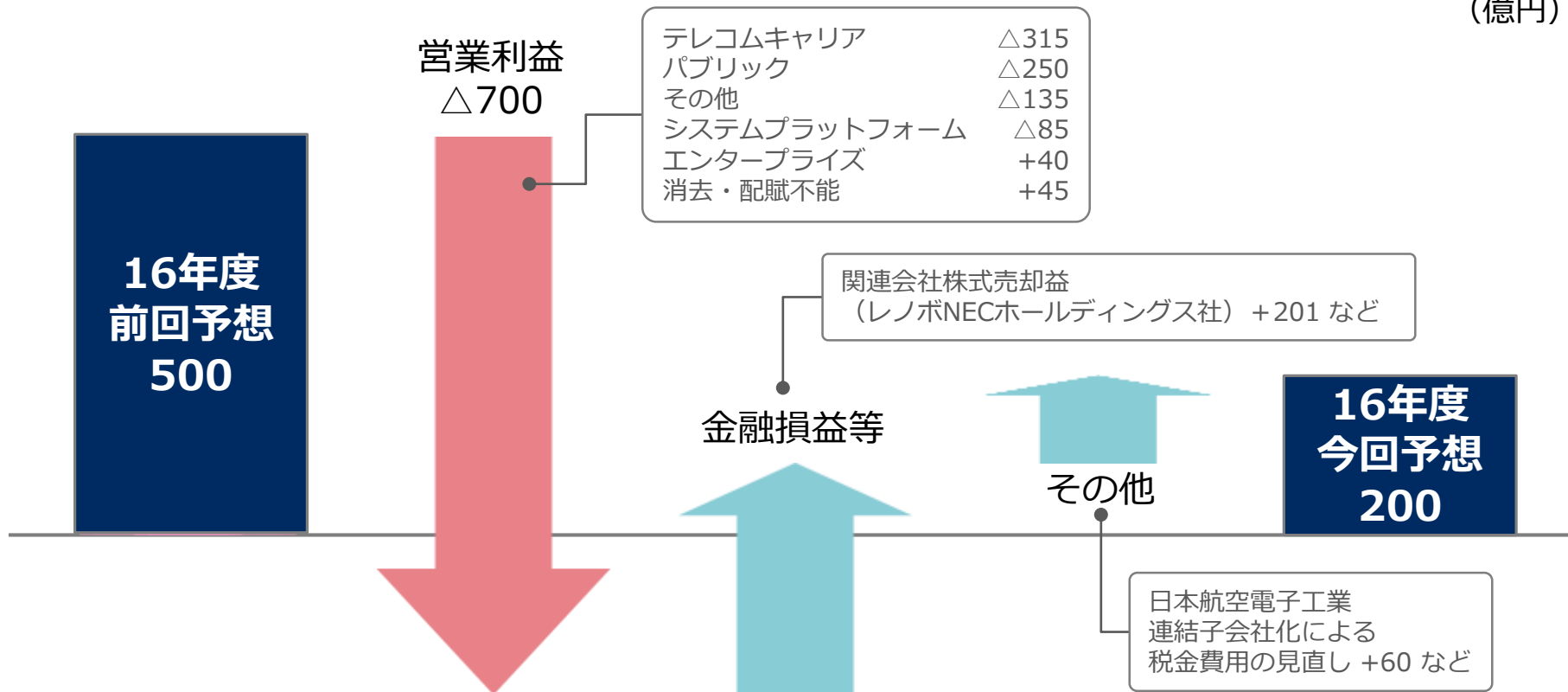
- 社会インフラ領域：IT領域のプロジェクト管理ノウハウの横展開、生産管理部門等共通部門によるサポート機能の強化
- 海外領域：営業部門と製品・サービスを担う事業部門の連携強化

※ 予想値は、2017年1月30日現在

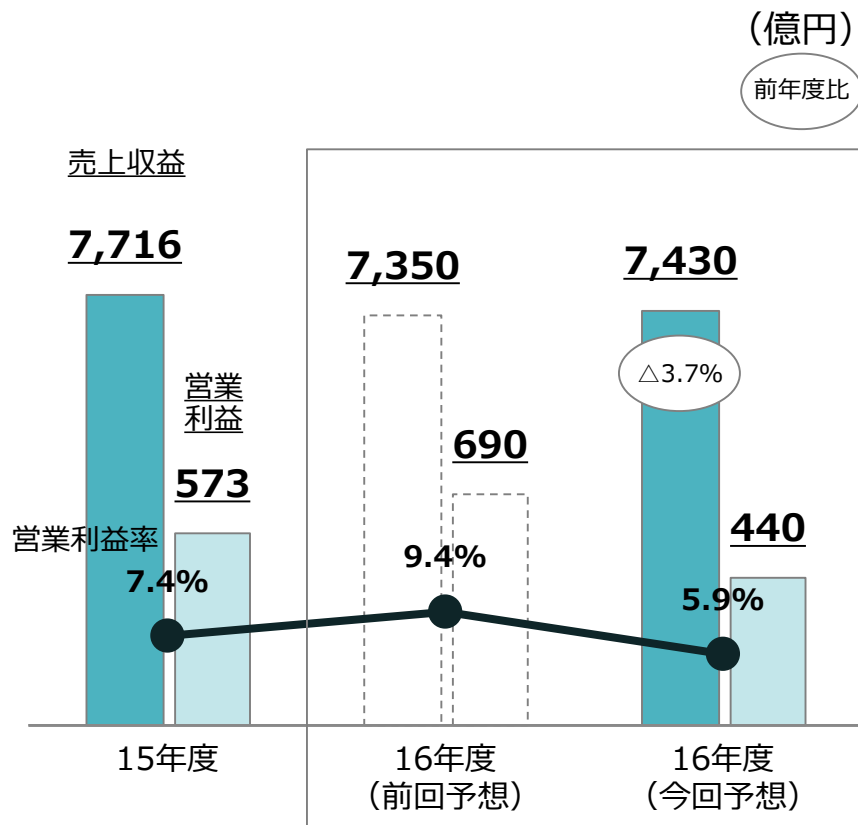
当期利益予想 前回予想との差異（イメージ）

通期予想

（億円）



※ 前回予想は2016年10月31日現在、今回予想は2017年1月30日現在



売上収益 7,430億円 (△3.7%)

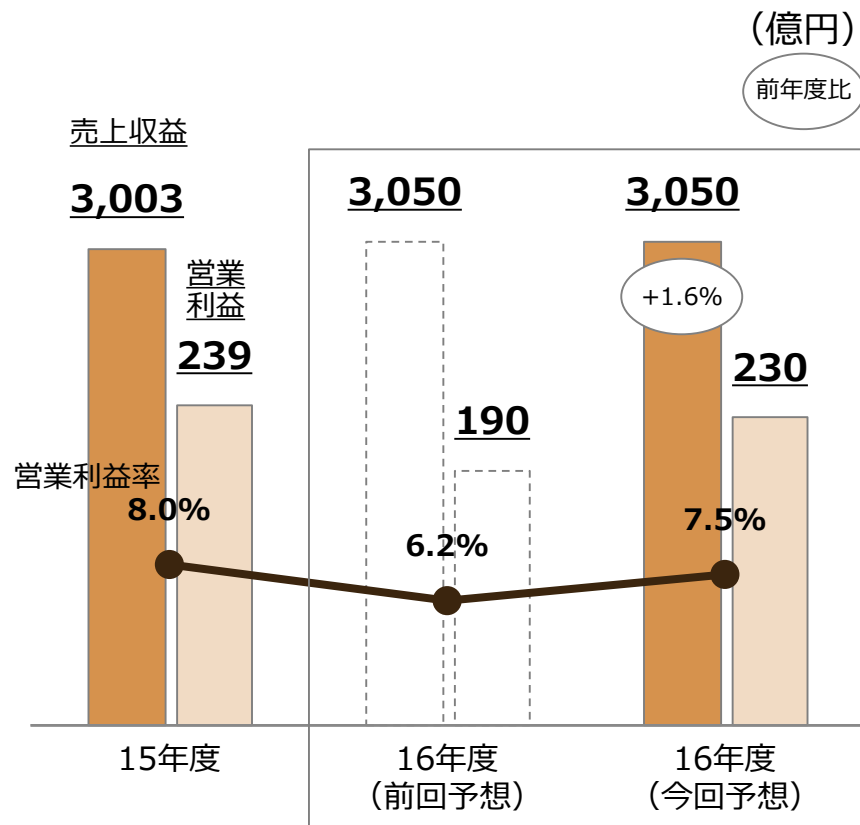
- 日本航空電子工業の連結子会社化があるものの、公共向けを中心に減少を見込む

営業利益 440億円 (△133億円)

- 売上減に加え、宇宙事業の採算性悪化などにより減益を見込む



※ 前回予想は2016年10月31日現在、今回予想は2017年1月30日現在、カッコ内の%は前年度比



売上収益 3,050億円 (+1.6%)

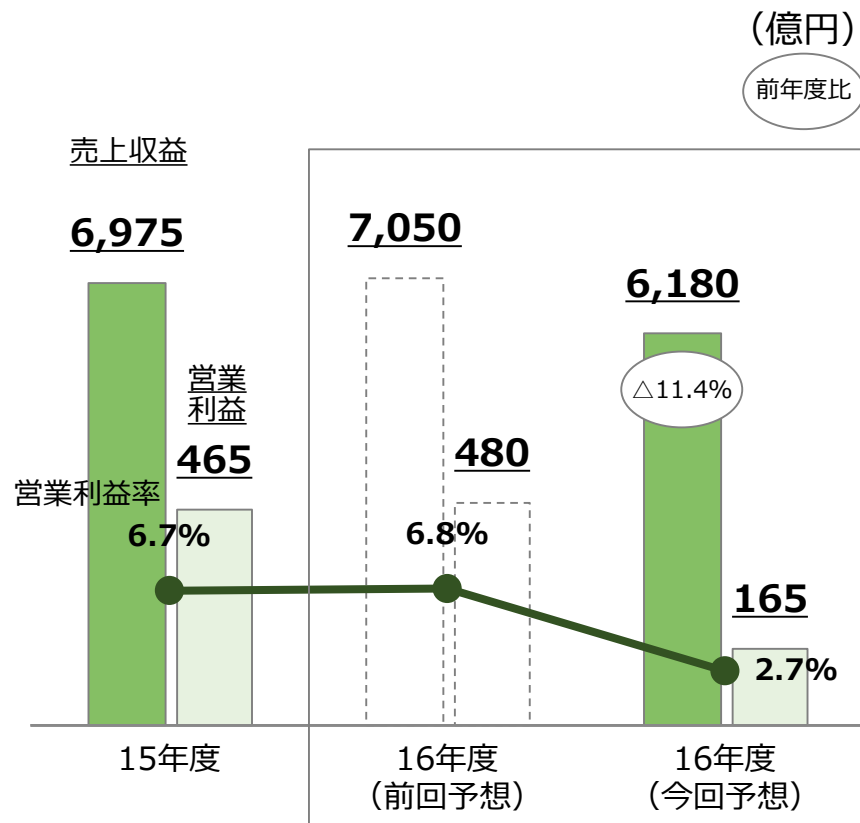
- 製造業向けを中心に増加を見込む

営業利益 230億円 (△9億円)

- 前年並みを見込む



※ 前回予想は2016年10月31日現在、今回予想は2017年1月30日現在、カッコ内の%は前年度比



売上収益 6,180億円 (△11.4%)

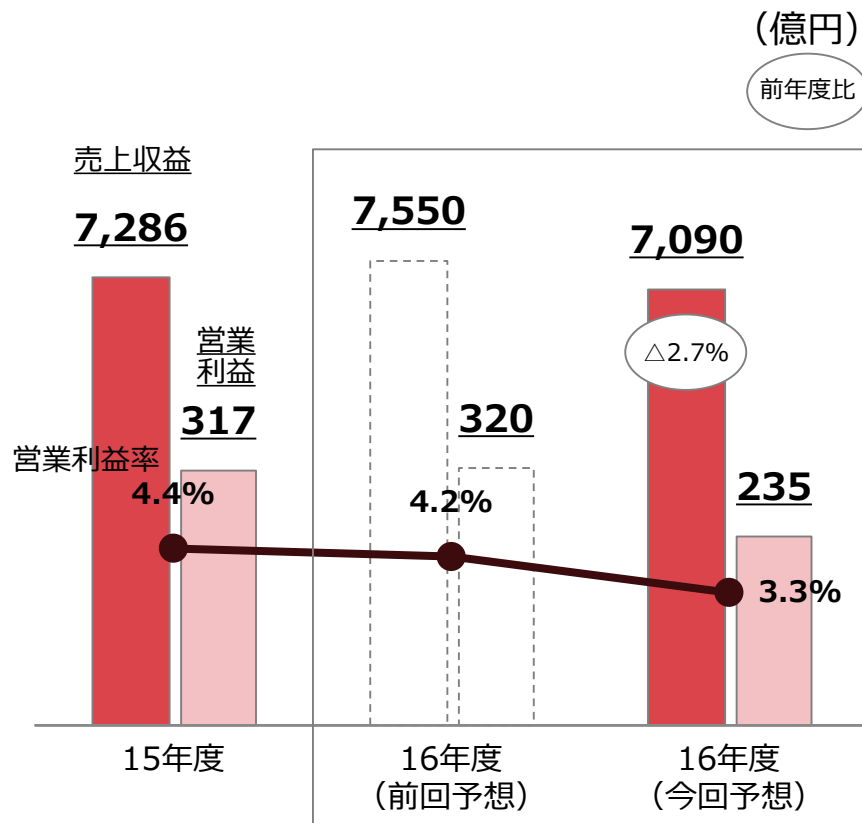
- 通信事業者の投資停滞および円高の影響により減少を見込む

営業利益 165億円 (△300億円)

- 売上減に加え、円高の影響や注力領域への投資増などにより減益を見込む



※ 前回予想は2016年10月31日現在、今回予想は2017年1月30日現在、カッコ内の%は前年度比



売上収益 7,090億円 (△2.7%)

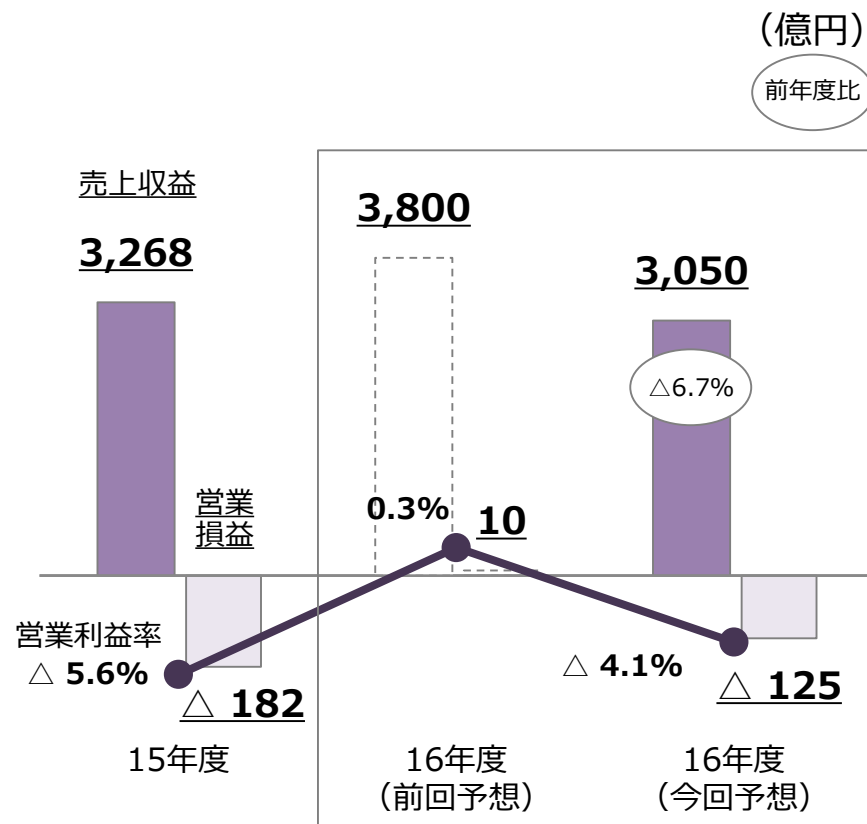
- 前年にあったハードウェアの大型案件の売上が減少したことや円高の影響により減少を見込む

営業利益 235億円 (△82億円)

- 売上減に加え、プロジェクトミックスの悪化、サーバの価格競争激化や保守サービスの収益性悪化などにより減益を見込む



※ 前回予想は2016年10月31日現在、今回予想は2017年1月30日現在、カッコ内の%は前年度比



売上収益 3,050億円 (△6.7%)

- 国内電力会社向け事業や携帯電話端末事業の移管の影響などにより減少を見込む

営業損益 △125億円 (+57億円)

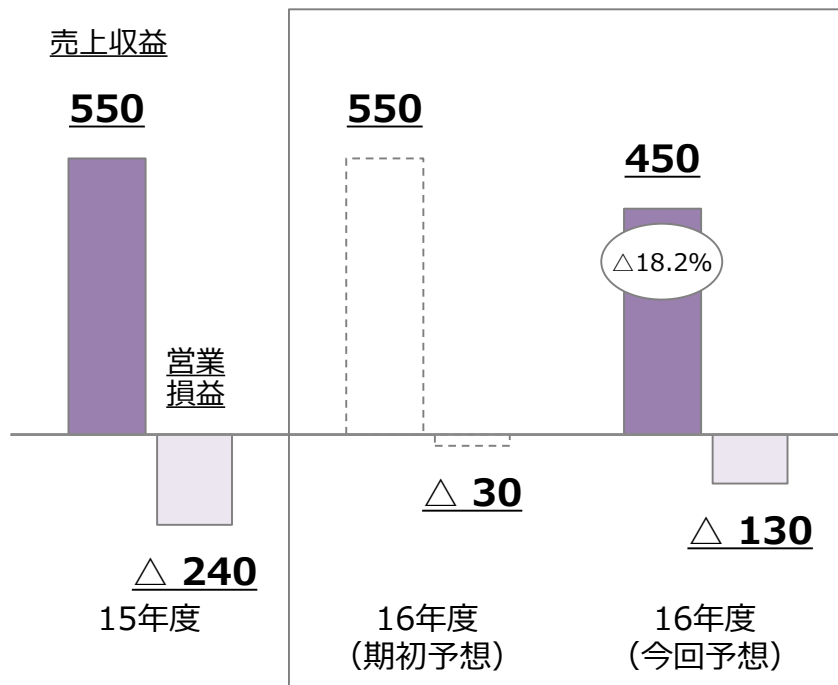
- 海外事業における事業構造改善費用の計上や不採算案件などがあるものの、スマートエネルギー事業の損益改善を見込む



※ 前回予想は2016年10月31日現在、今回予想は2017年1月30日現在、カッコ内の%は前年度比

(億円)

前年度比



売上収益 450億円 ($\Delta 18.2\%$)

- 電力会社の投資抑制や競争激化、小型蓄電の需要減などにより減収を見込む

営業損益 △130億円 (+110億円)

- 前年にあった資産減損の減少などにより損益は改善

<大型蓄電システムの受注・内示状況>



※ 期初予想は2016年4月28日現在、今回予想は2017年1月30日現在、カッコ内の%は前年度比

課題解決に向けて、早急に具体策を検討し実行へ

<トップライン拡大>

■ 新規事業の立上げ加速

- 注力事業における投資継続・拡大
- 当社の強みであるセーフティ関連の事業規模拡大、横展開の加速
- M&Aを活用した注力事業の基盤強化

<収益性改善>

■ 宇宙事業（パブリック）

- 技術者中心の事業体質を抜本的に改革し、IT領域の管理ノウハウを適用することで不採算案件を抑制

■ テレコムキャリア

- マルチタスク化によるリソースの流動化・最適化

■ システムプラットフォーム

- 国内保守サービス事業の収益性改善施策を展開

■ スマートエネルギー事業

- 人員シフトの継続、ポートフォリオ改革実行

※ 2017年1月30日現在

経営スピードの向上と実行力強化

新たな業績予想を達成し、
年間6円の配当継続を実現

※ 予想値は、2017年1月30日現在

Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

 **Orchestrating** a brighter world

NEC

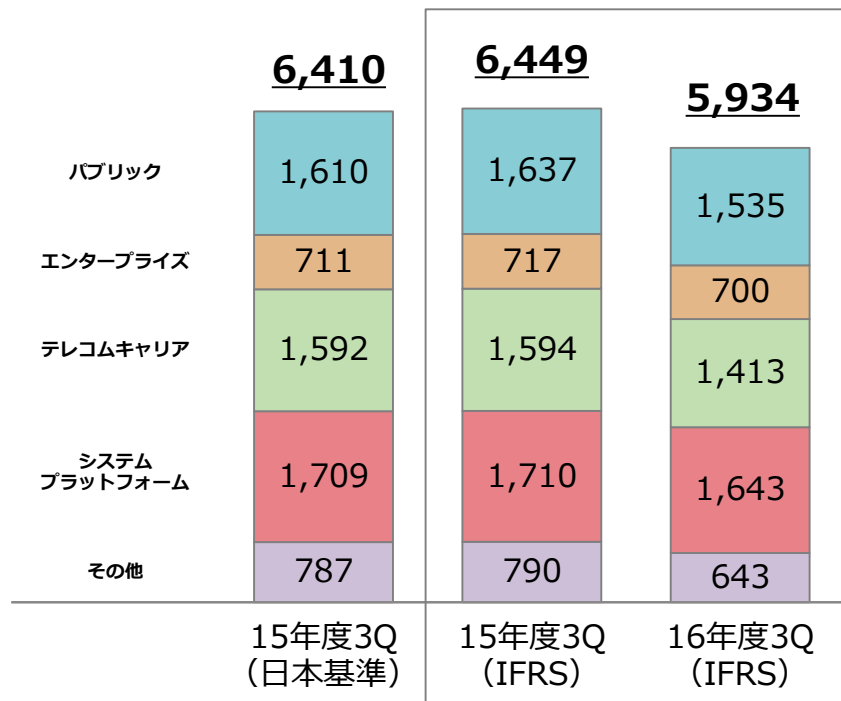
第3四半期 決算概要（補足）

セグメント別 第3四半期実績 (2カ年推移)

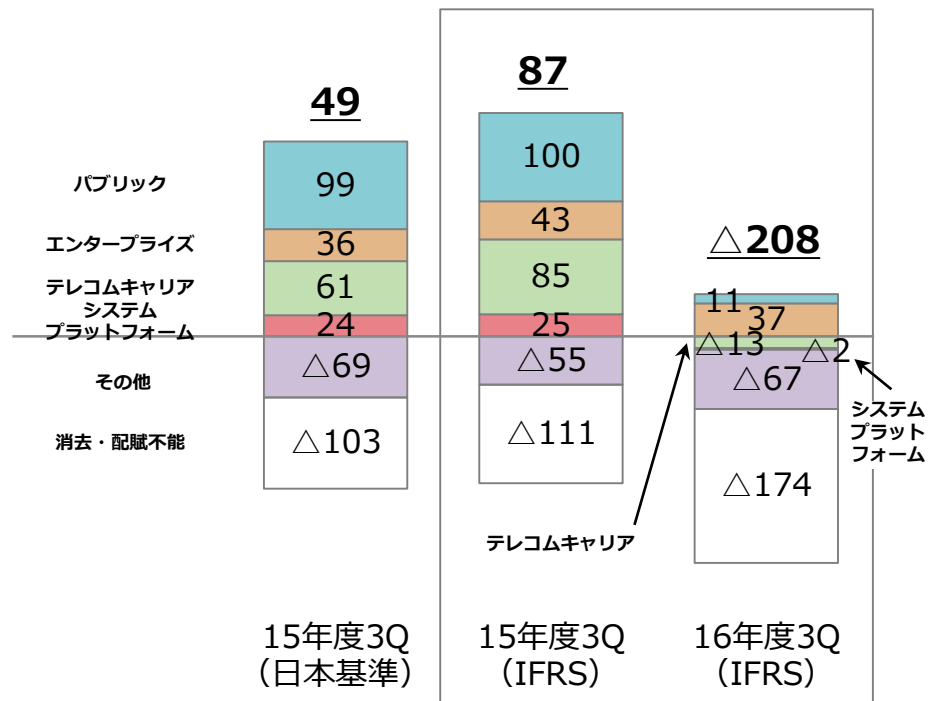
第3四半期
(3カ月)

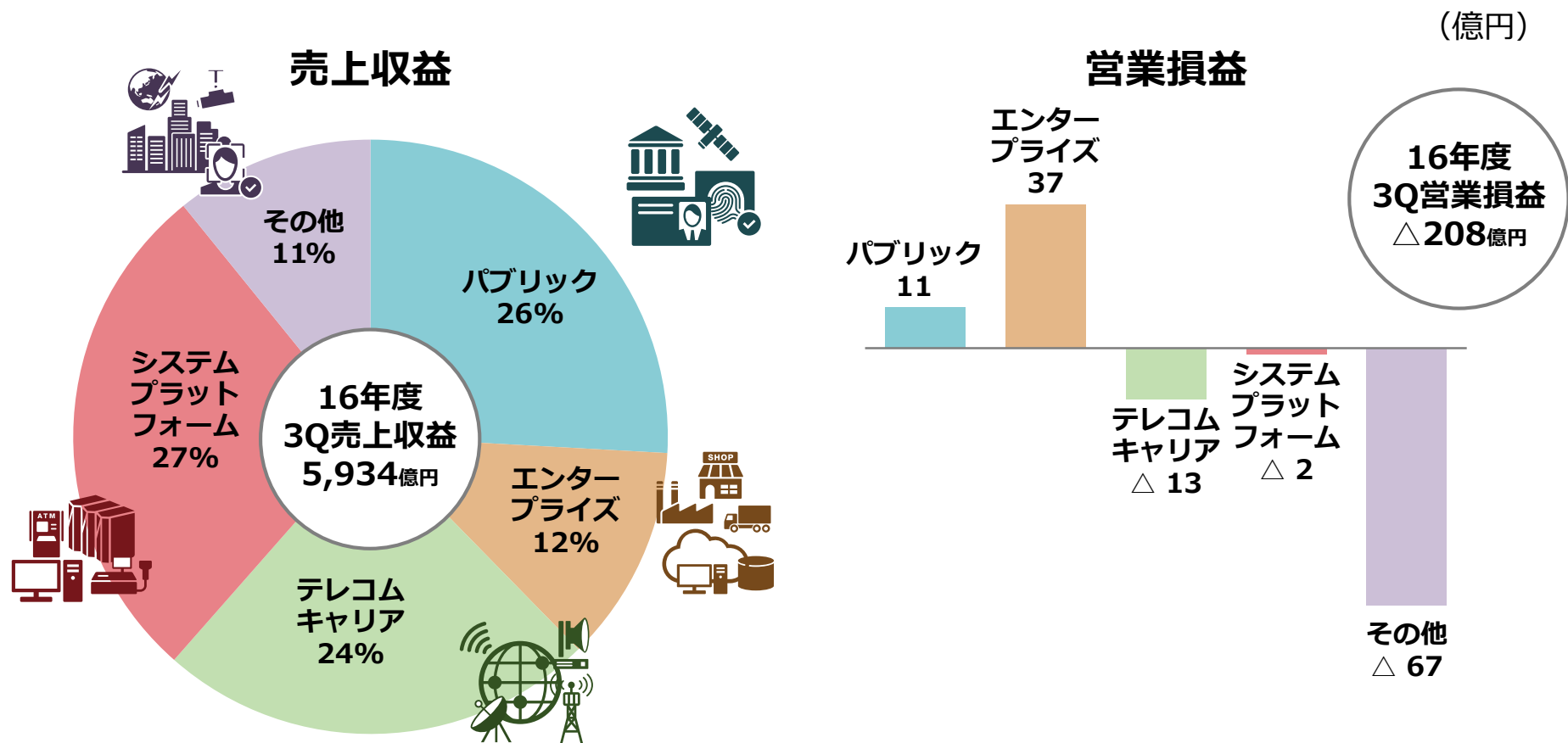
(億円)

売上収益



営業損益

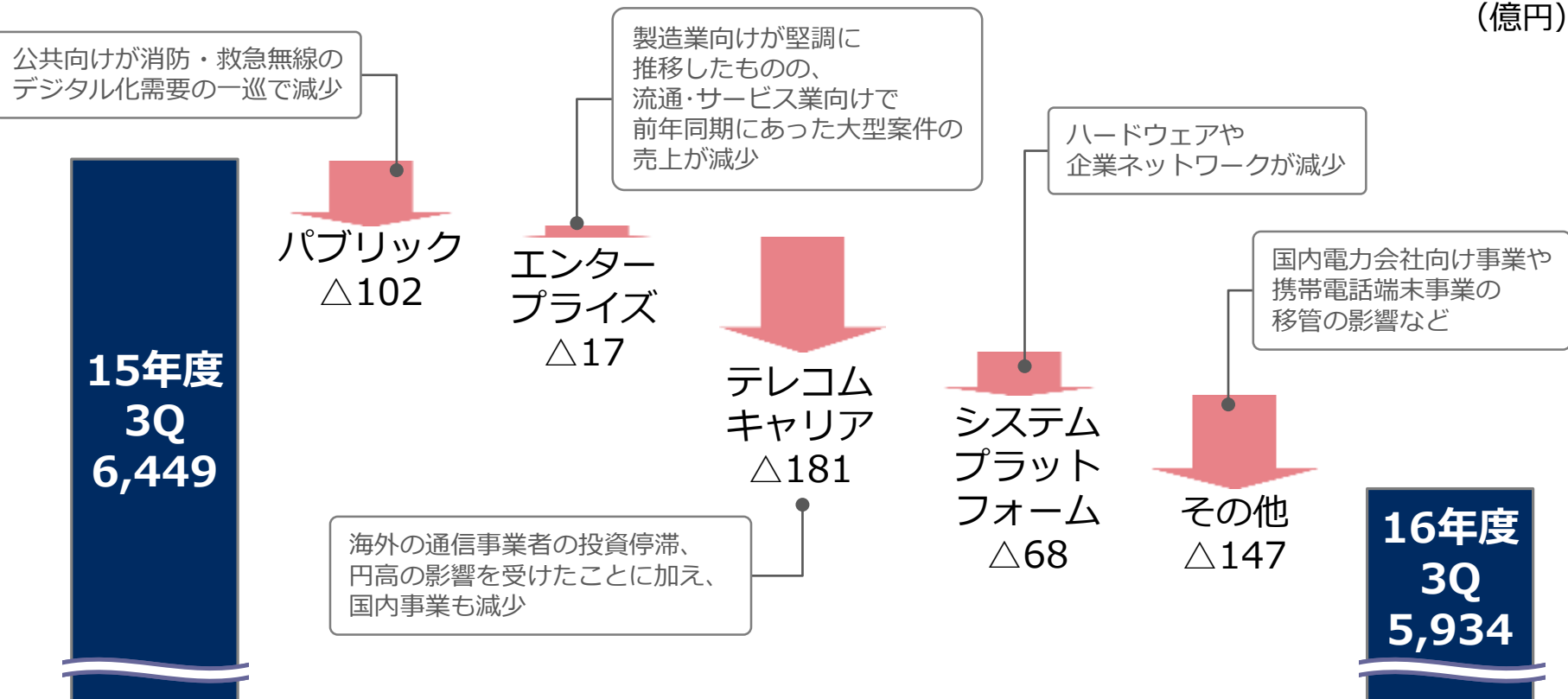




売上収益増減（前年同期比）

第3四半期
(3カ月)

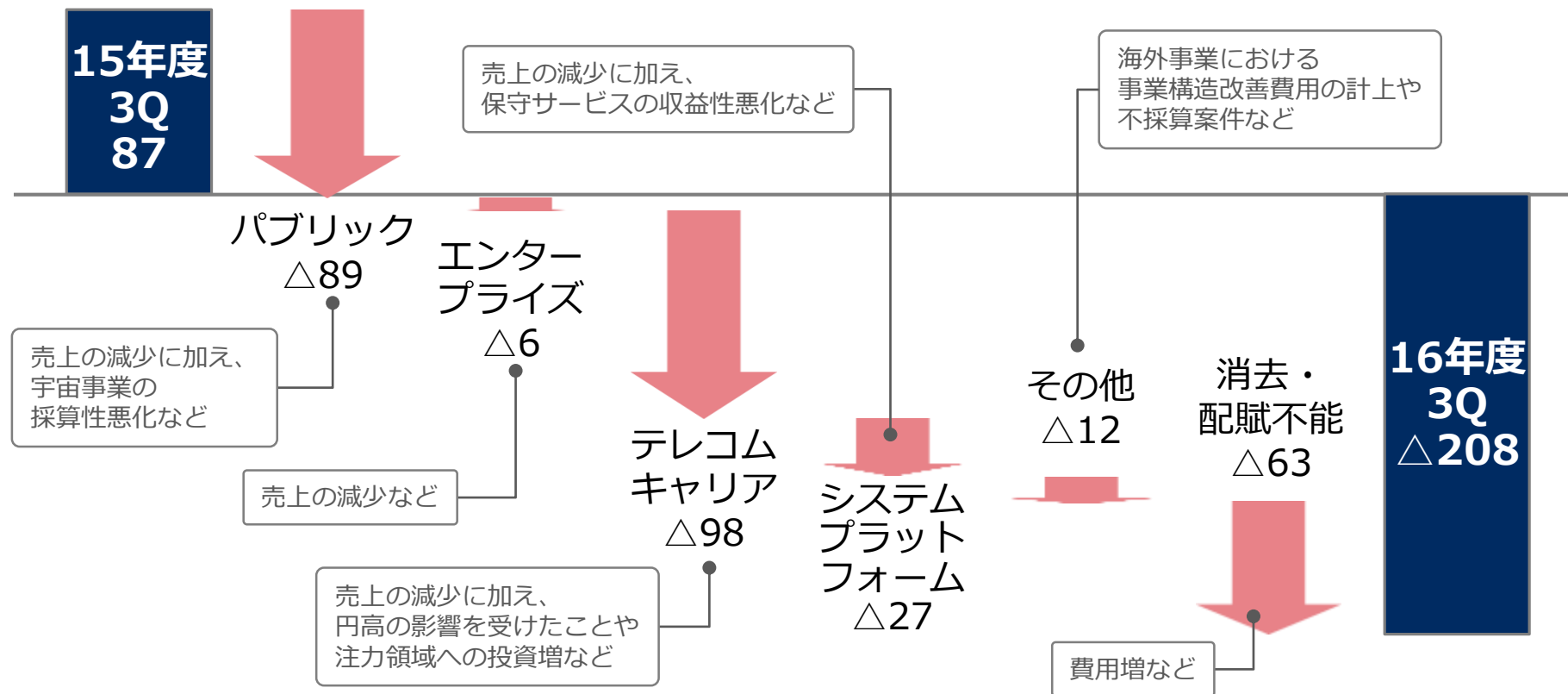
(億円)

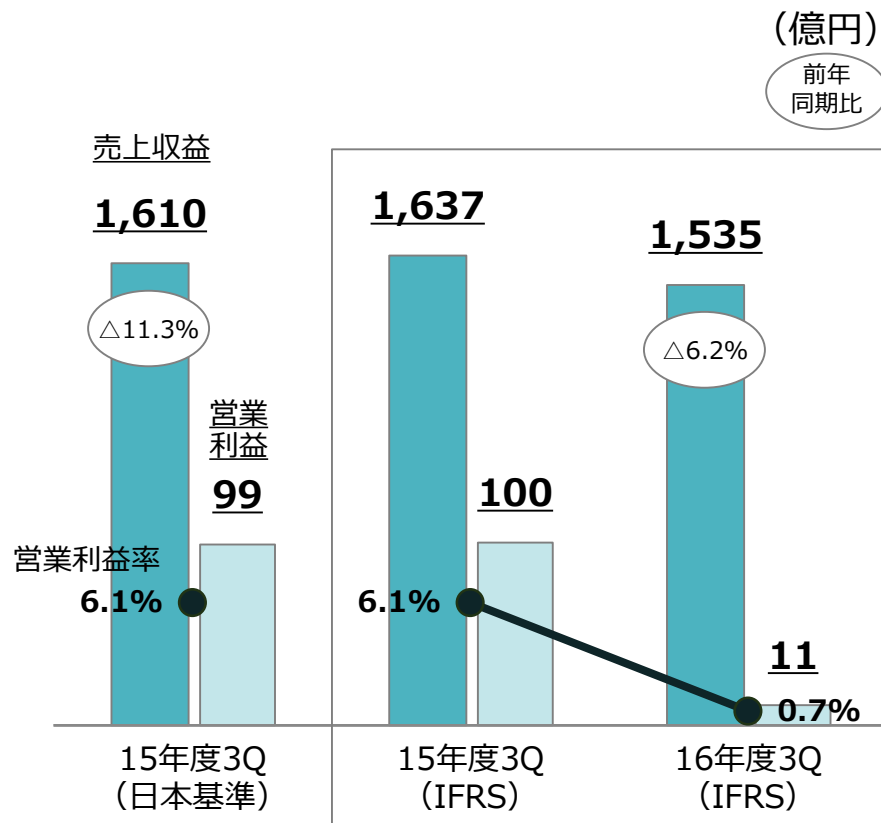


営業損益増減（前年同期比）

第3四半期
(3カ月)

(億円)





売上収益 1,535億円 (△6.2%)

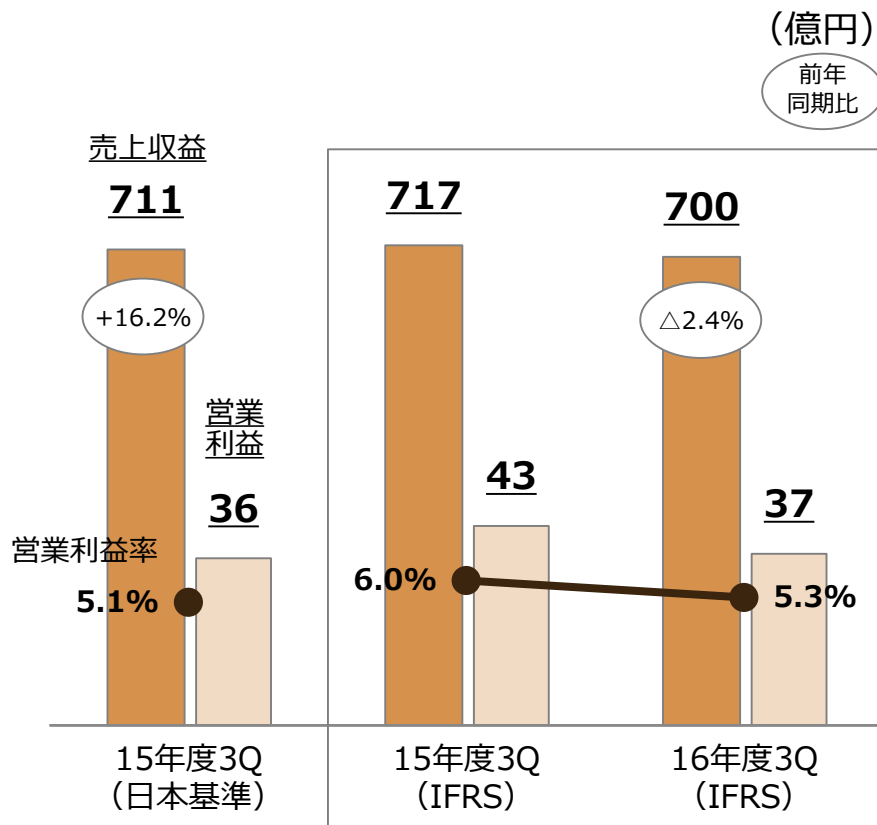
- 公共向けが消防・救急無線のデジタル化需要の一巡で減少したことなどにより減収

営業利益 11億円 (△89億円)

- 売上の減少に加え、宇宙事業の採算性悪化などにより減益



※ カッコ内の%は前年同期比



売上収益 700億円 (△2.4%)

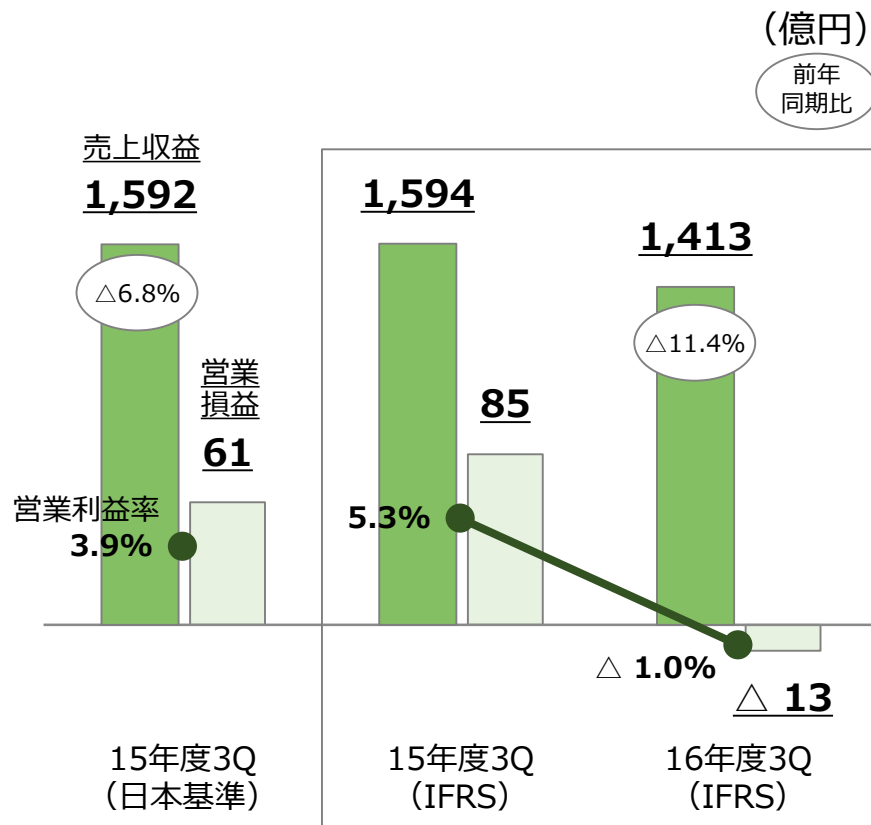
- 製造業向けが堅調に推移したものの、流通・サービス業向けで前年同期にあった大型案件の売上が減少し減収

営業利益 37億円 (△6億円)

- 売上が減少したことなどにより減益



※ カッコ内の%は前年同期比



売上収益 **1,413億円** (△11.4%)

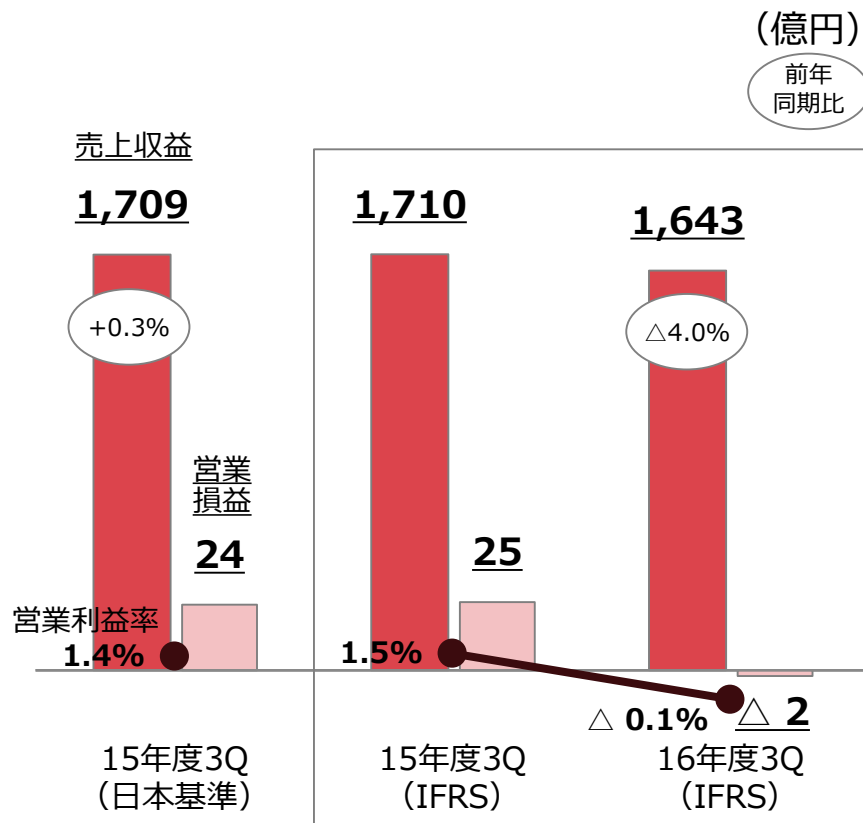
- 海外の通信事業者の投資停滞、円高の影響を受けたことに加え、国内事業も減少

営業損益 **△13億円** (△98億円)

- 売上の減少に加え、円高の影響を受けたことや注力領域への投資増などにより減益



※ カッコ内の%は前年同期比



売上収益 1,643億円 (△4.0%)

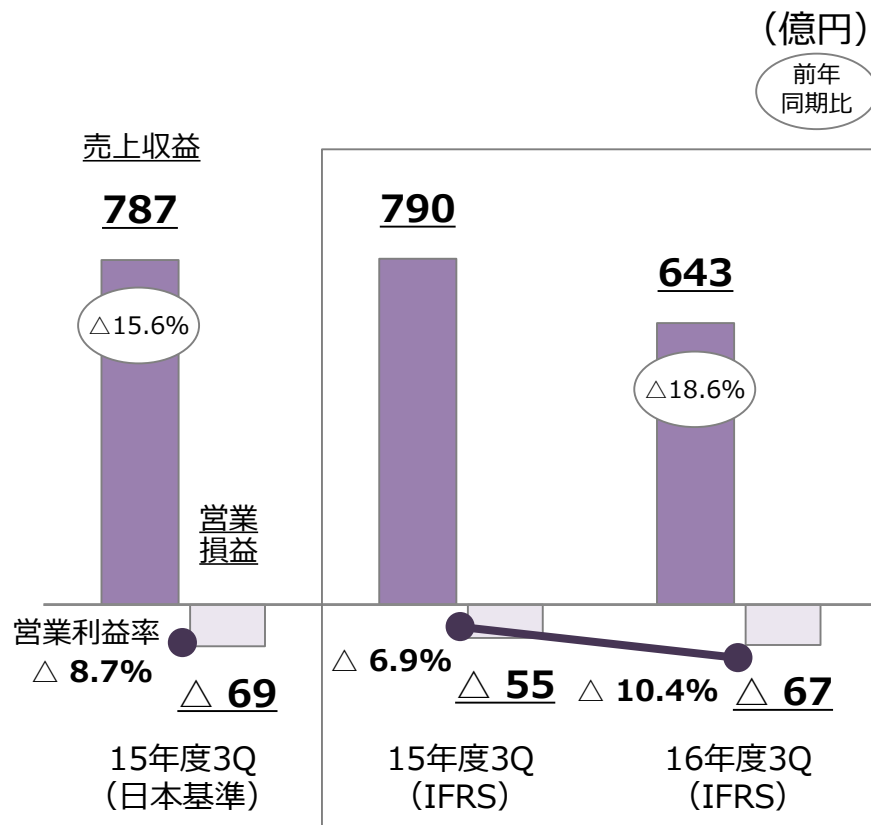
- ハードウェアや企業ネットワークが減少

営業損益 △2億円 (△27億円)

- 売上の減少に加え、保守サービスの収益性悪化などにより減益



※ カッコ内の%は前年同期比



売上収益 643億円 (△18.6%)

- 国内電力会社向け事業や携帯電話端末事業の移管の影響などにより減収

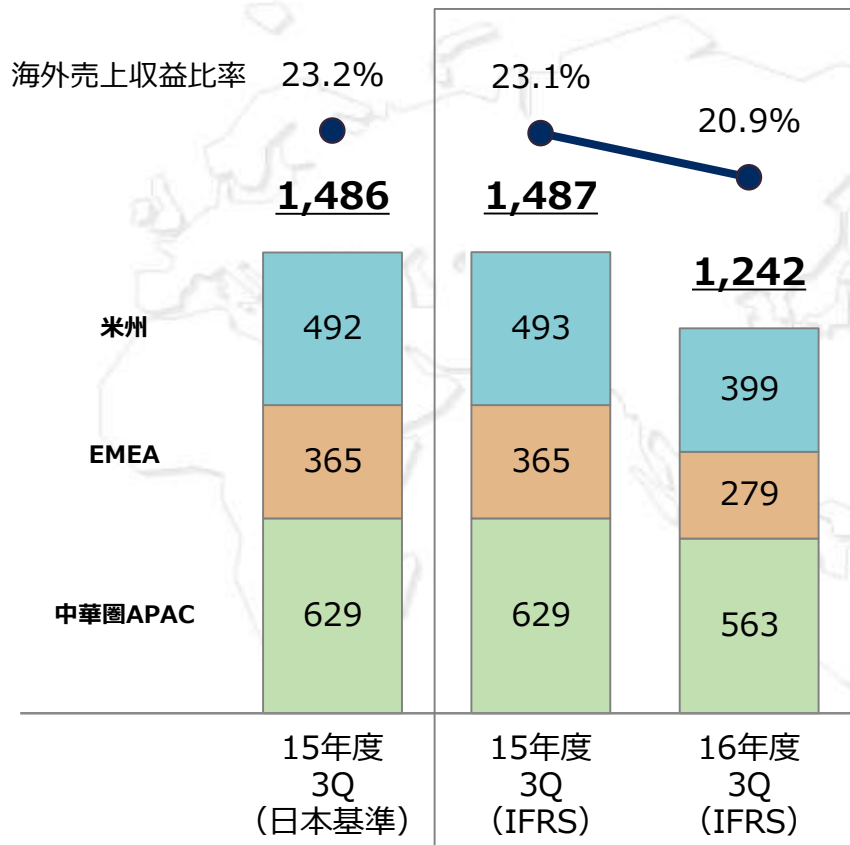
営業損益 △67億円 (△12億円)

- 海外事業における事業構造改善費用の計上や不採算案件などにより減益

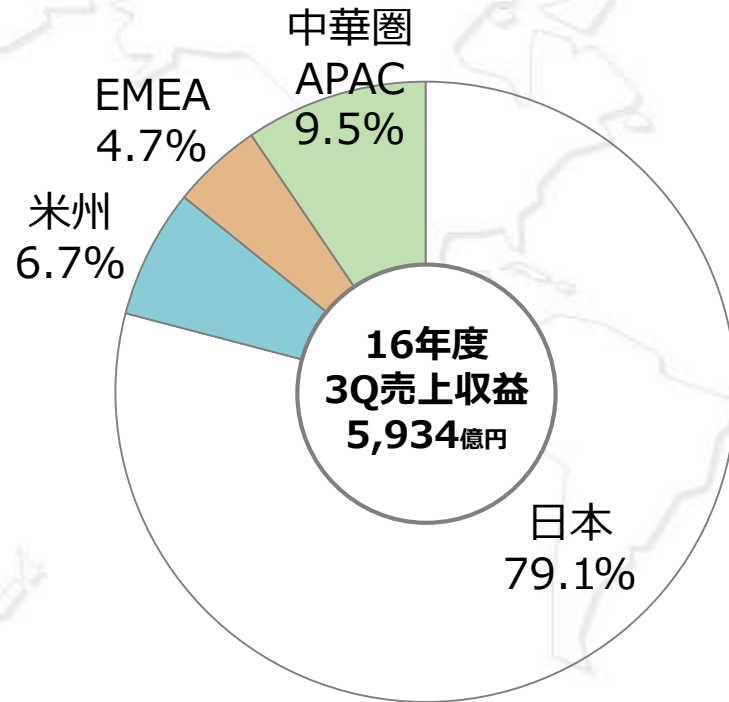


※ カッコ内の%は前年同期比

(億円)



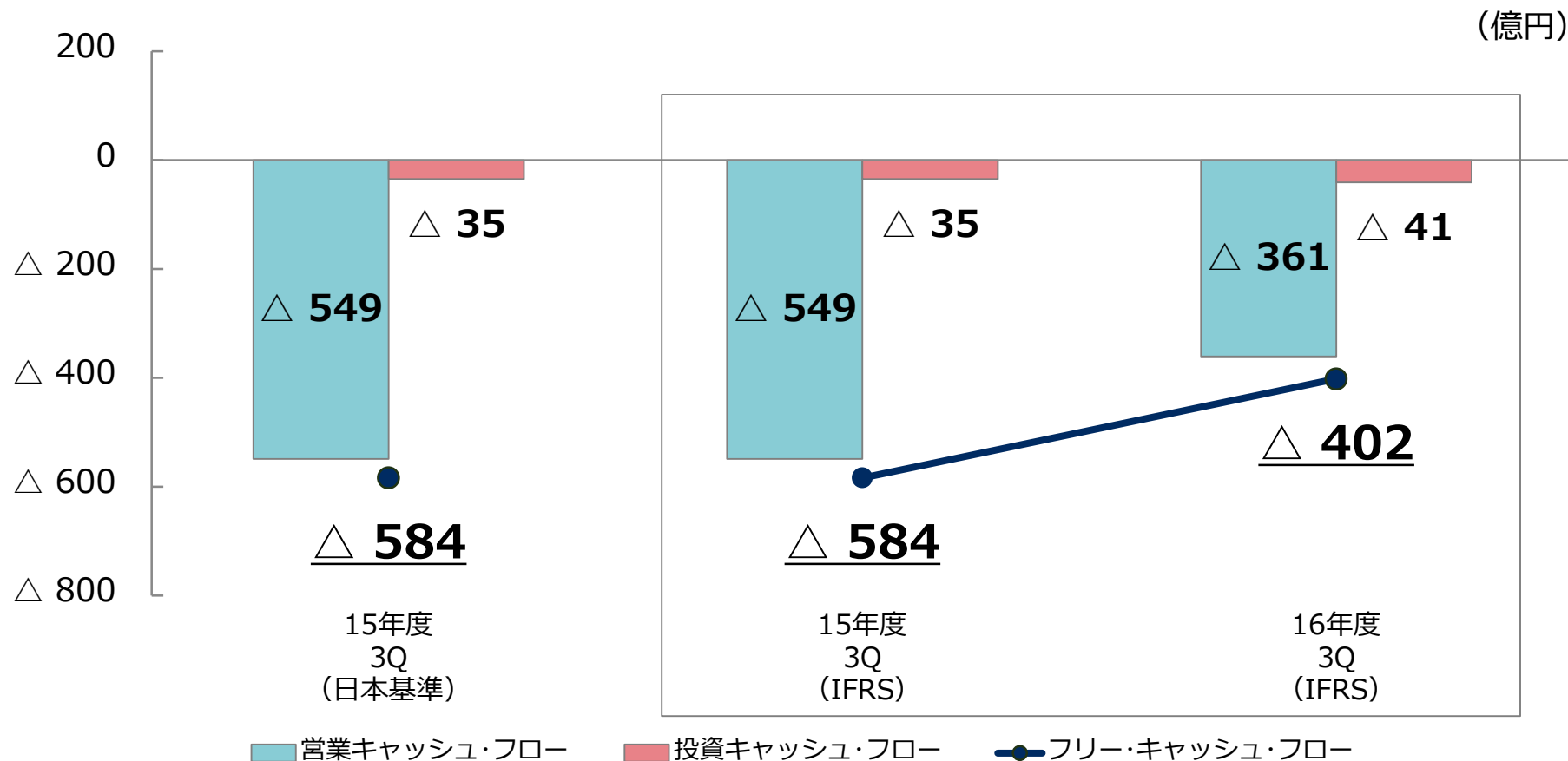
地域別売上収益



※ 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

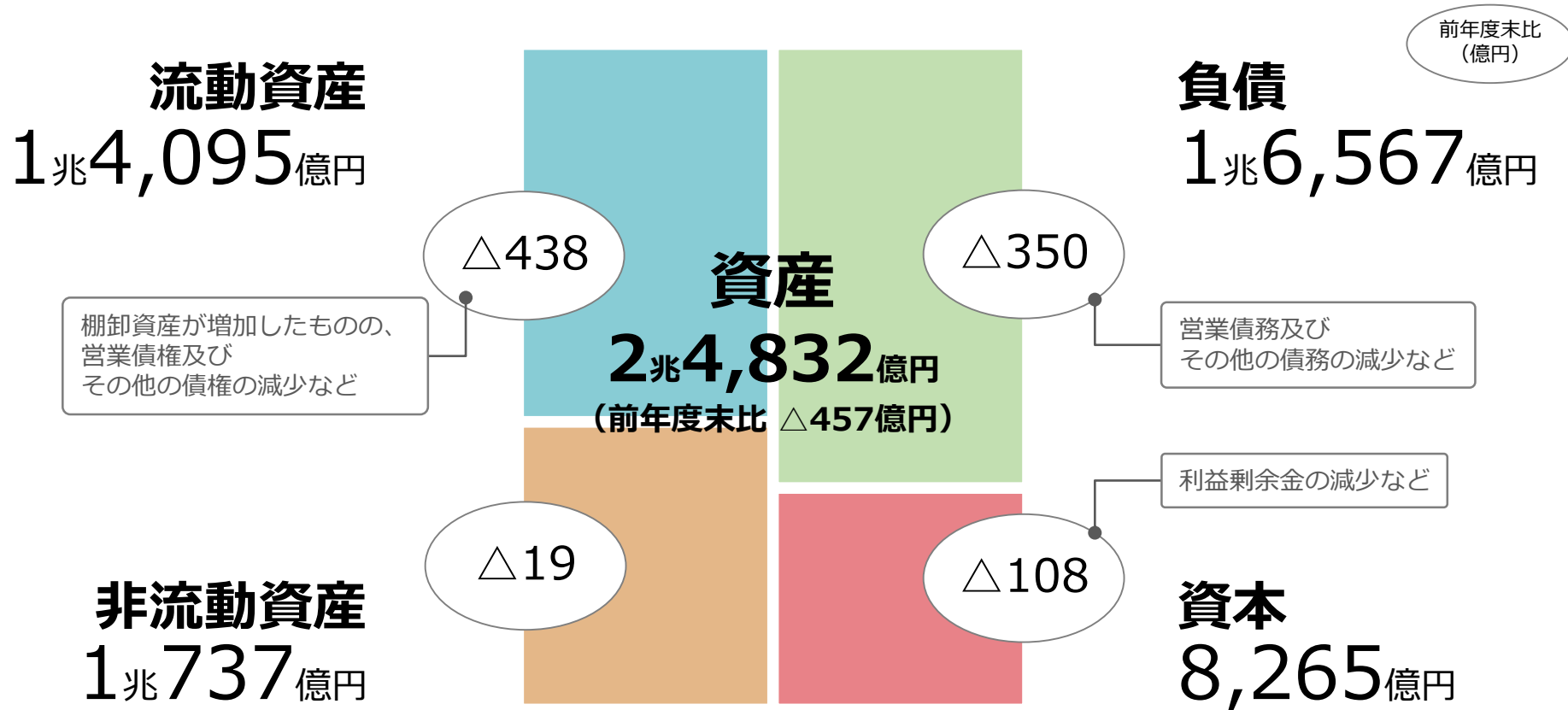
フリー・キャッシュ・フローの状況

第3四半期
(3カ月)



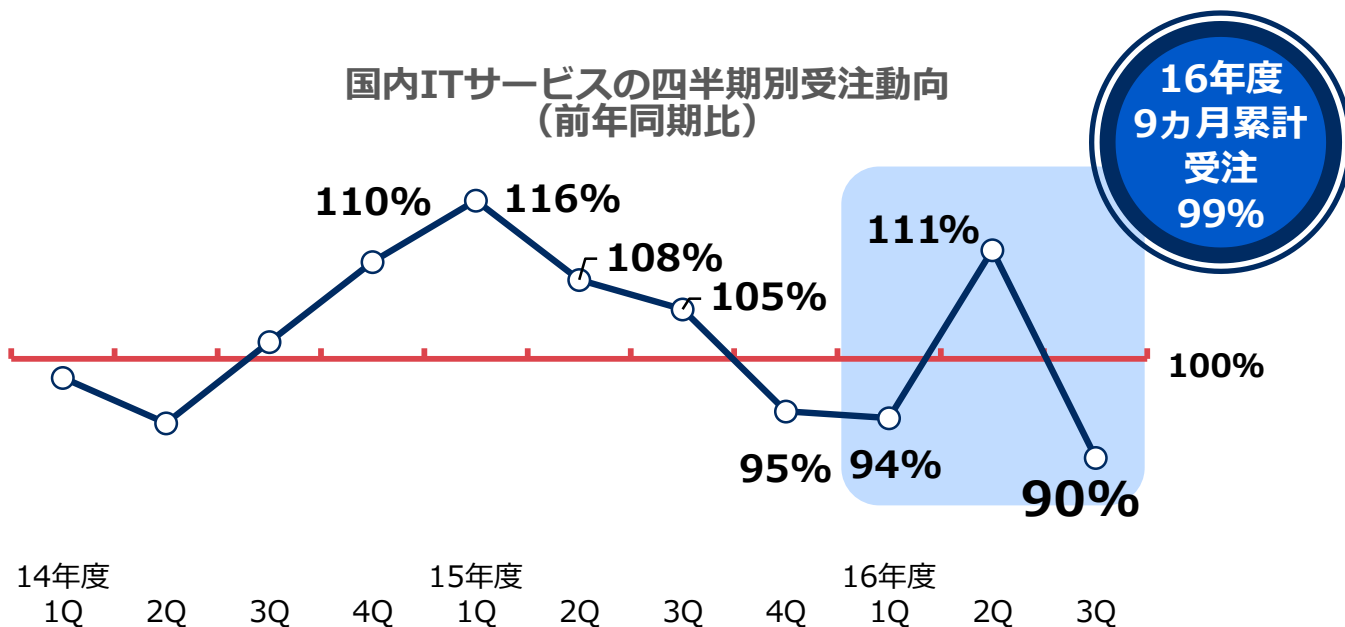
(億円)

	16/3末	16/12末	16/3末比	15/12末
資 産	25,289	24,832	△ 457	25,395
資 本	8,372	8,265	△ 108	8,804
有 利 子 負 債 残 高	4,795	5,179	+ 384	5,726
親会社の所有者に帰属する持分 親会社所有者帰属持分比率 (%)	7,698 30.4%	7,588 30.6%	△ 110 + 0.1pt	8,135 32.0%
D / E レ シ オ (倍)	0.62	0.68	△ 0.06pt	0.70
ネ ッ ト D / E レ シ オ (倍)	0.37	0.39	△ 0.02pt	0.49
現金及び現金同等物の期末残高	1,923	2,187	+ 264	1,717



国内IT投資（サービス）の受注は前年同期比で90%の水準

16年度3Qの国内ITサービスは、通信、製造が堅調も流通・サービス、公共が減少

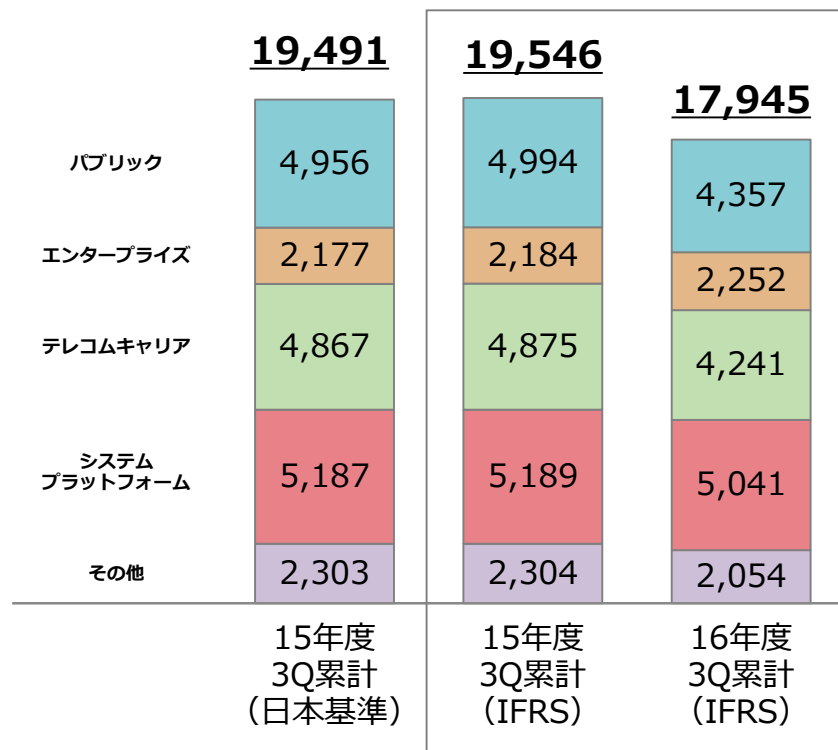


セグメント別 第3四半期累計実績（2カ年推移）

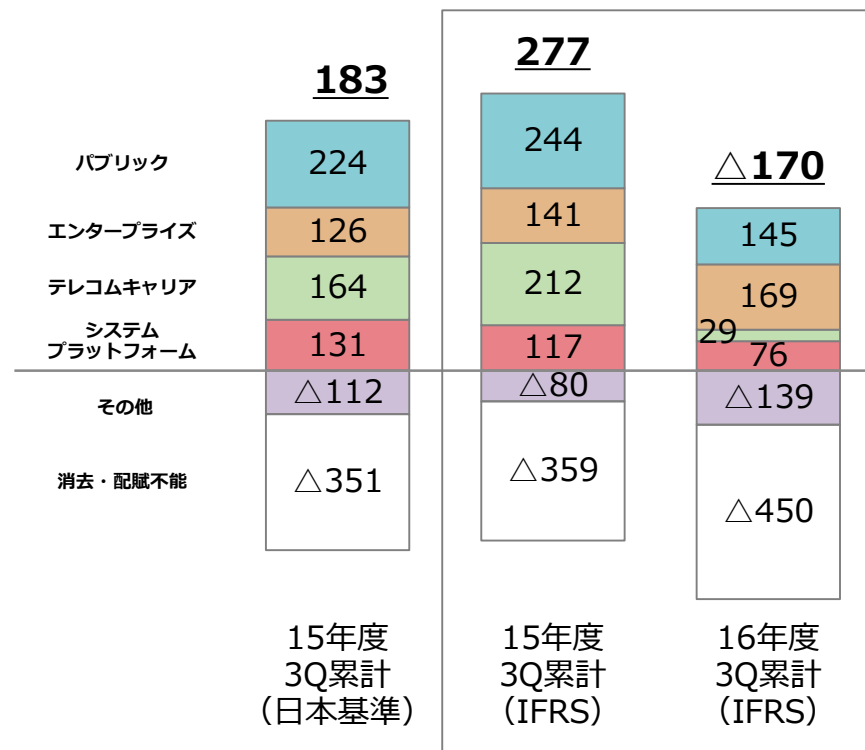
第3四半期累計
(9カ月)

(億円)

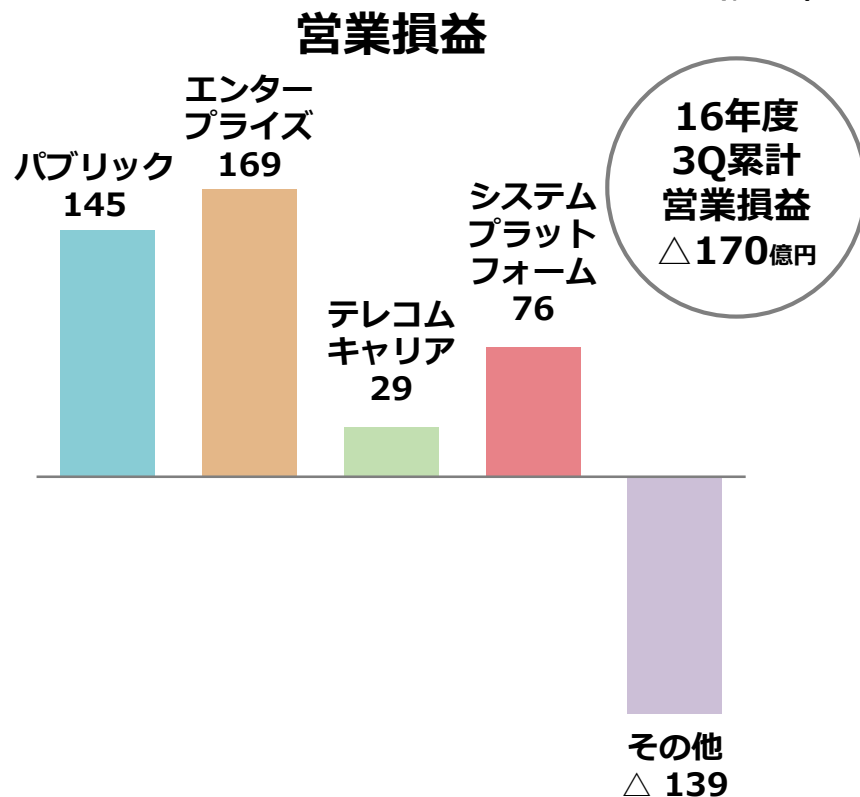
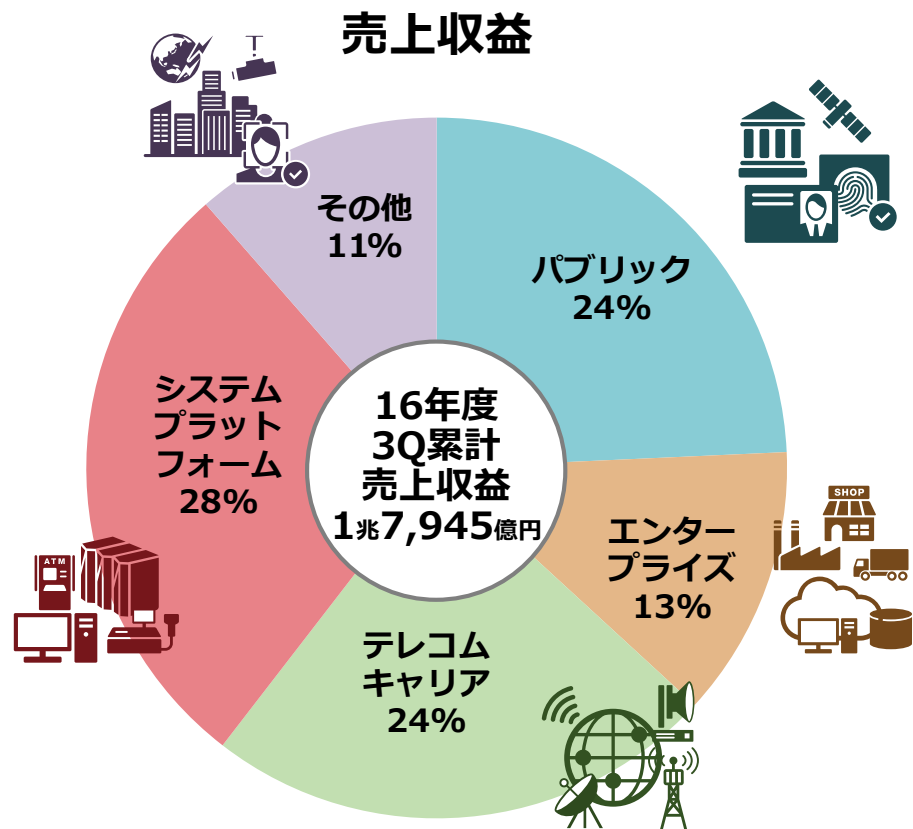
売上収益



営業損益



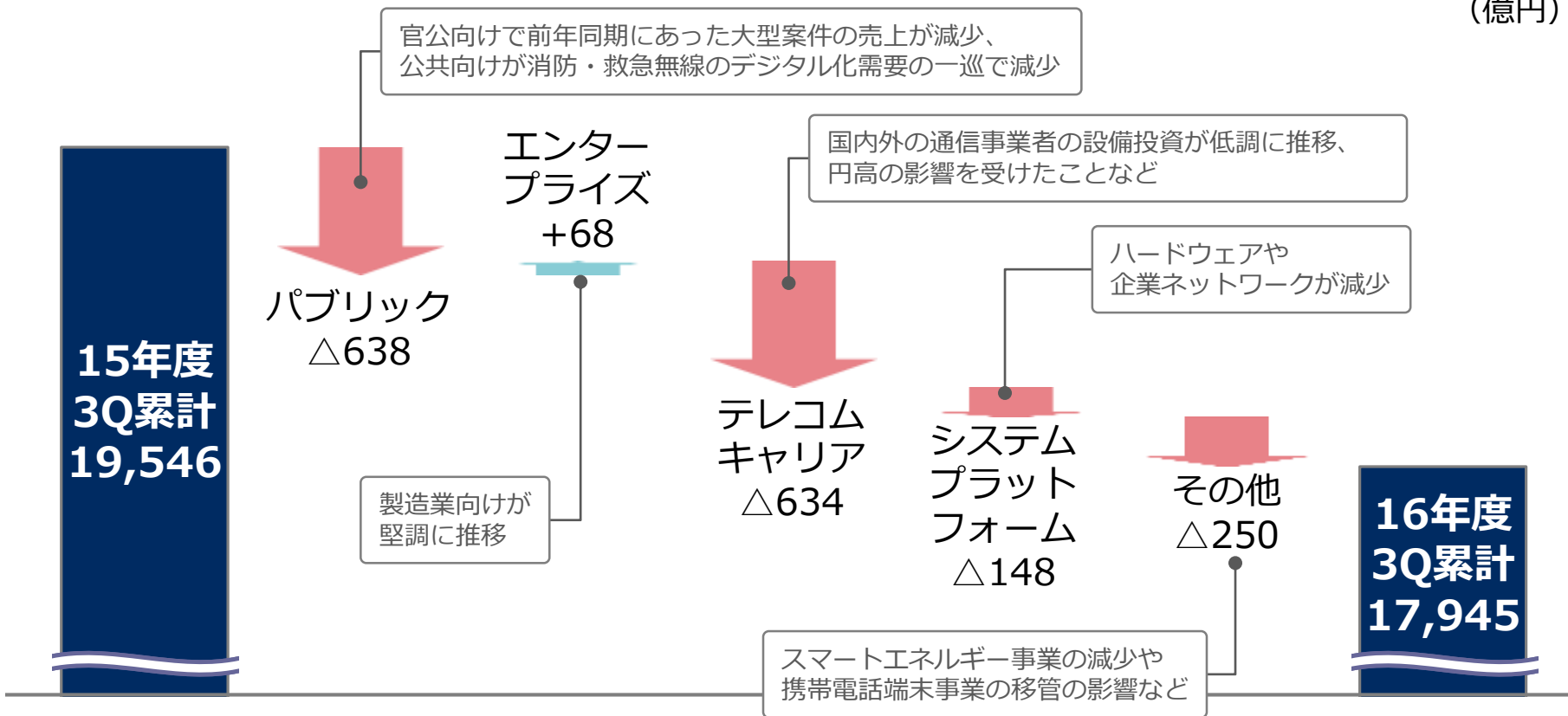
(億円)



売上収益増減（前年同期比）

第3四半期累計
(9ヵ月)

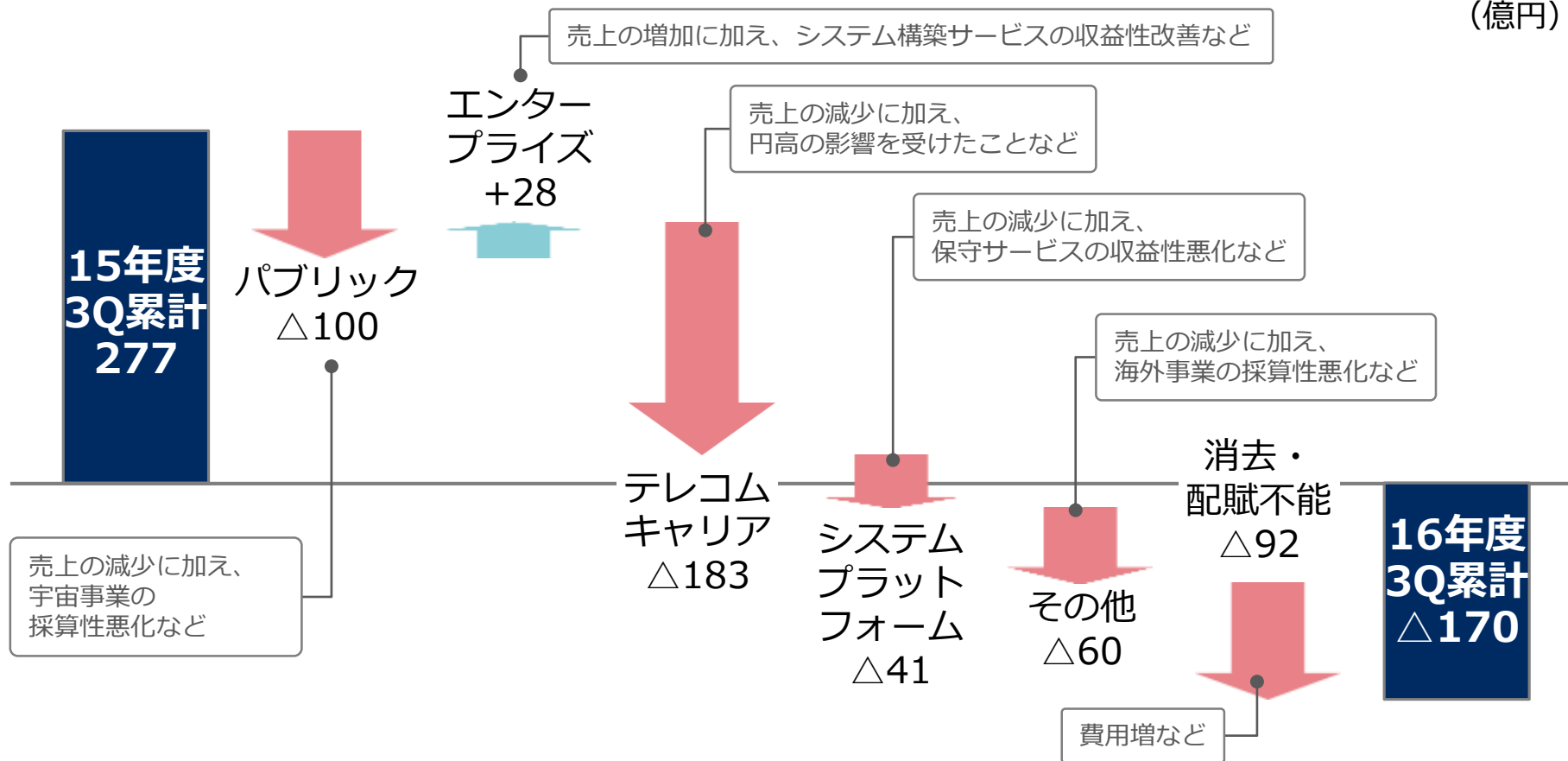
(億円)



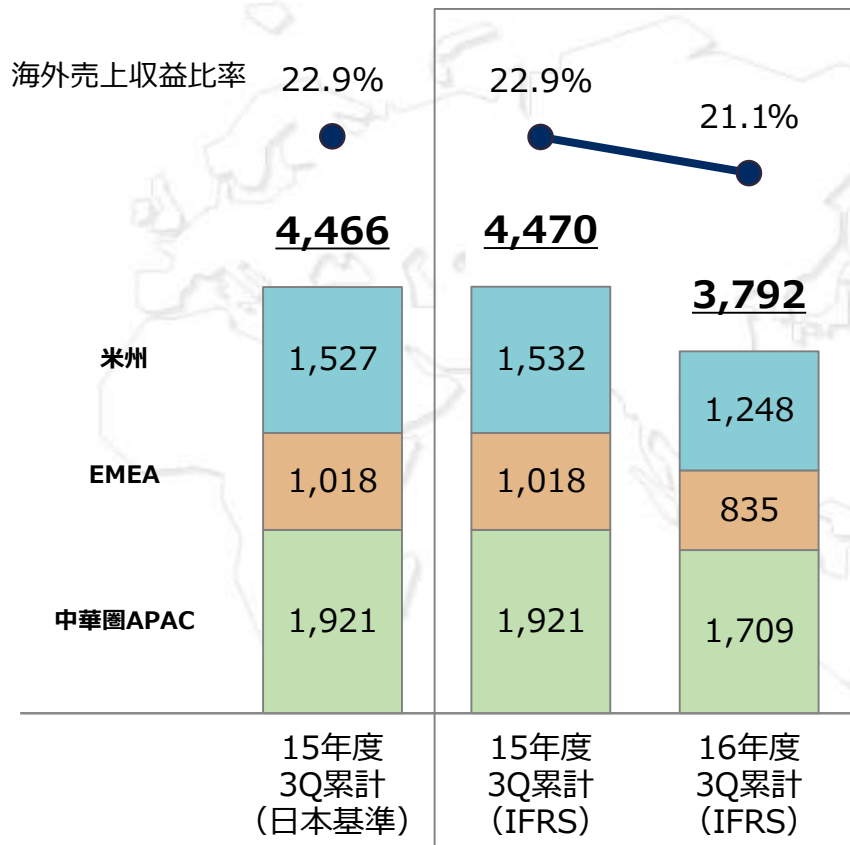
営業損益増減（前年同期比）

第3四半期累計
(9カ月)

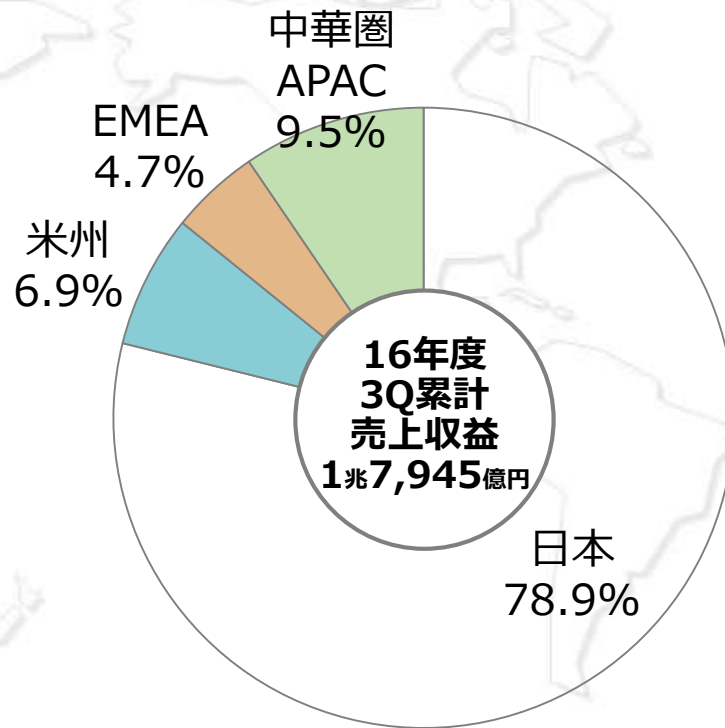
(億円)



(億円)



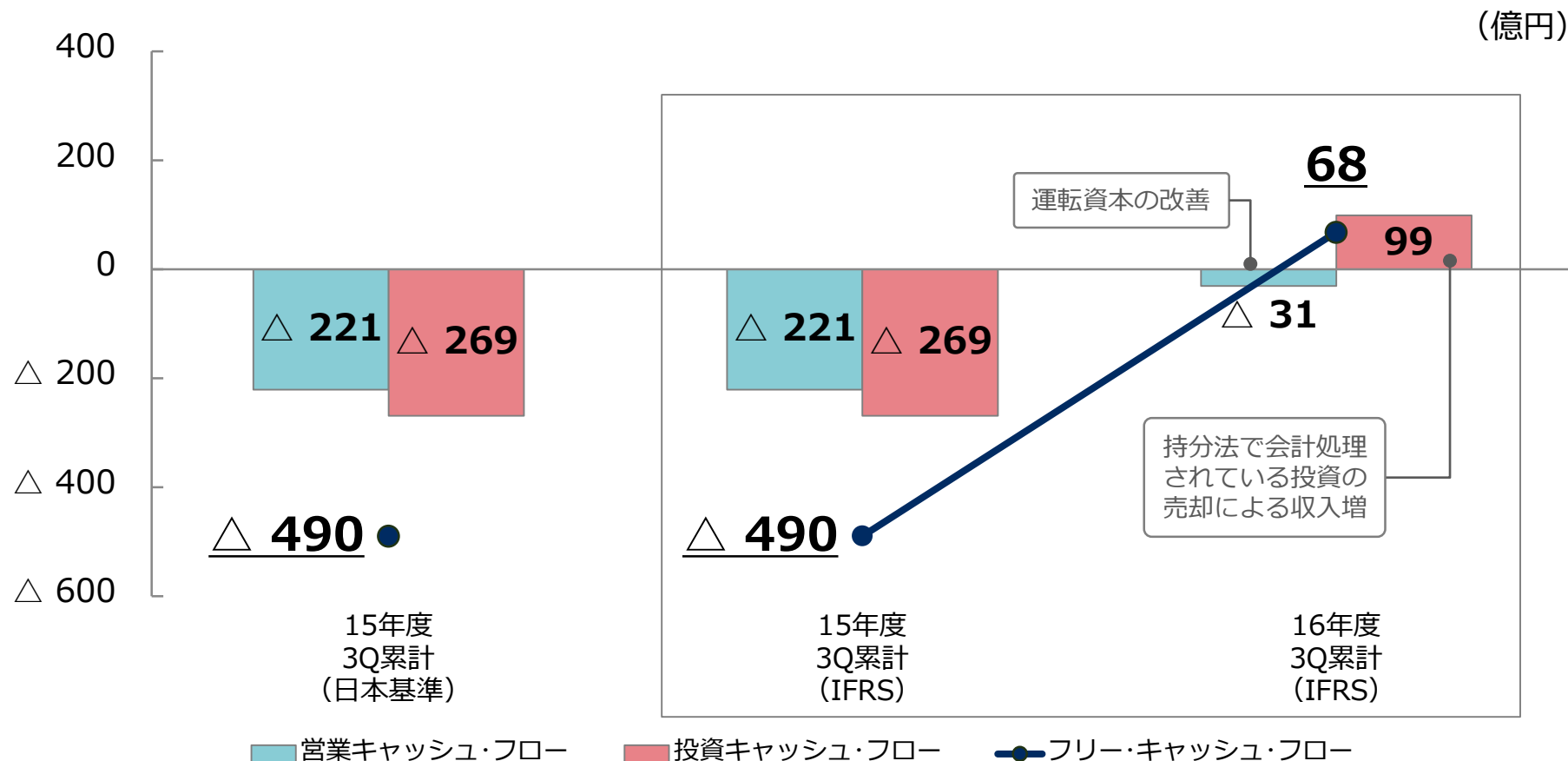
地域別売上収益



※ 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

フリー・キャッシュ・フローの状況

第3四半期累計
(9カ月)



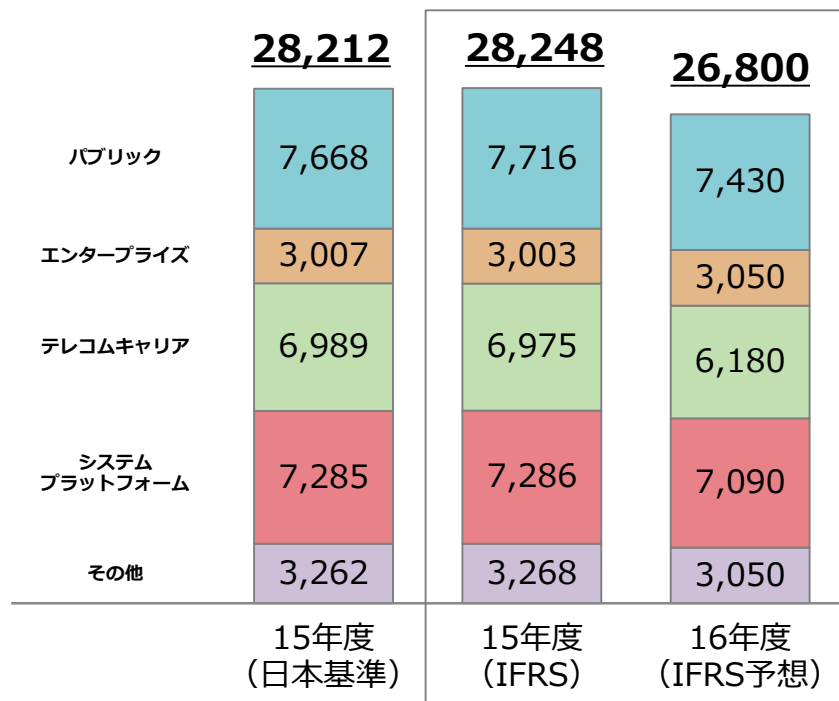
業績予想（補足）

セグメント別 業績予想（2カ年推移）

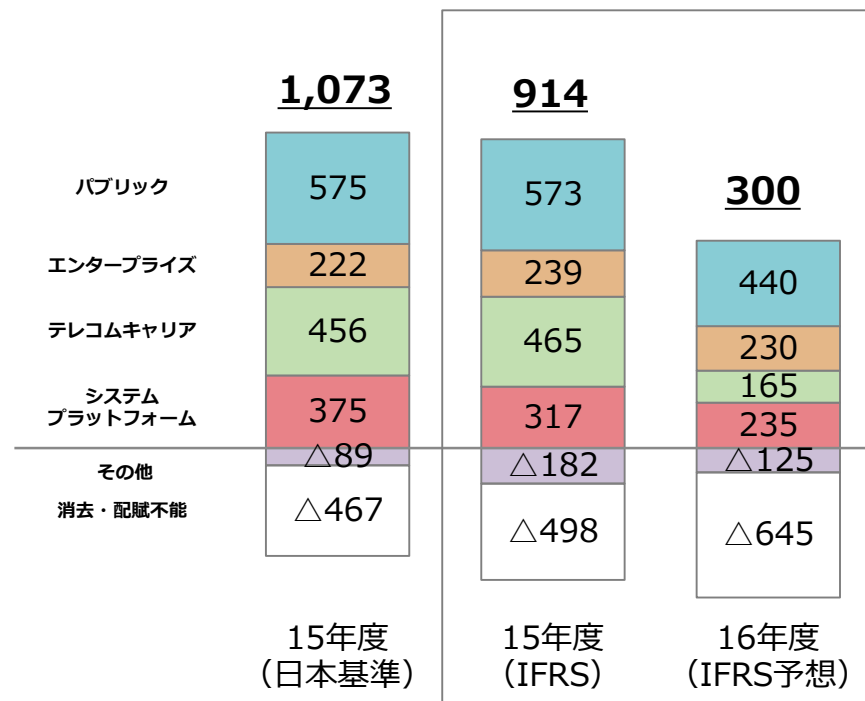
通期予想

(億円)

売上収益

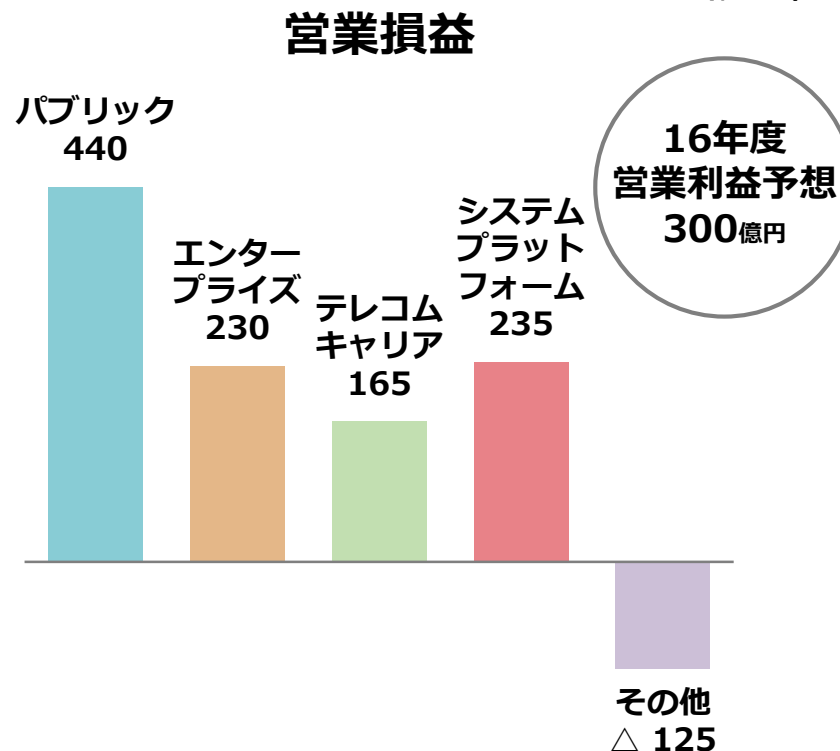
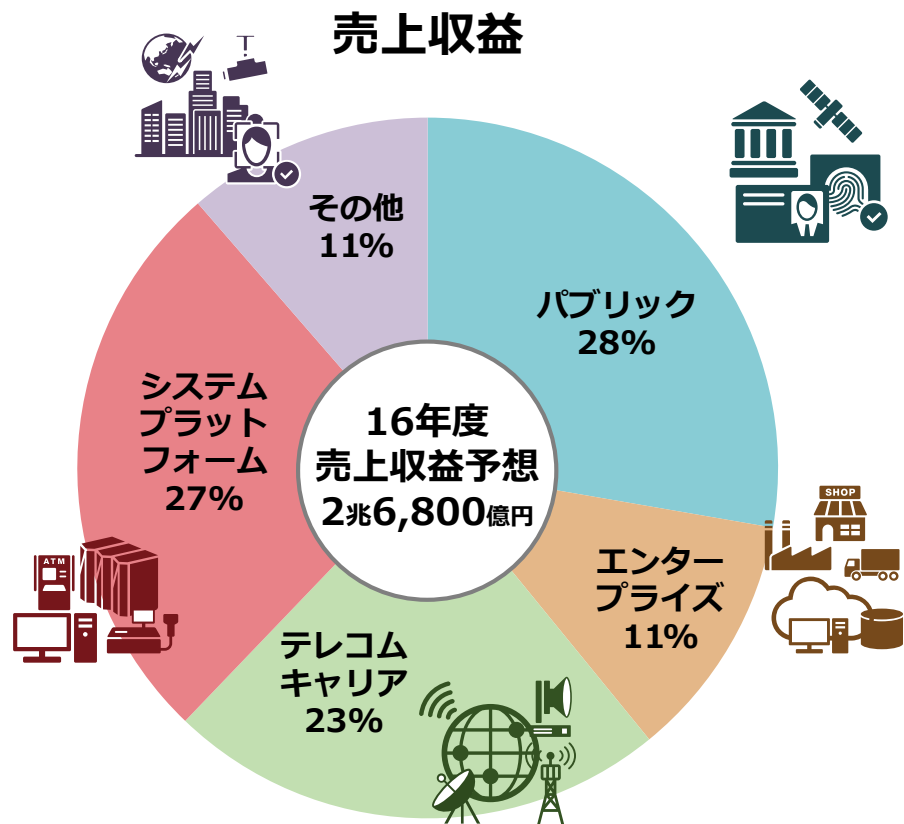


営業損益



※ 予想値は、2017年1月30日現在

(億円)

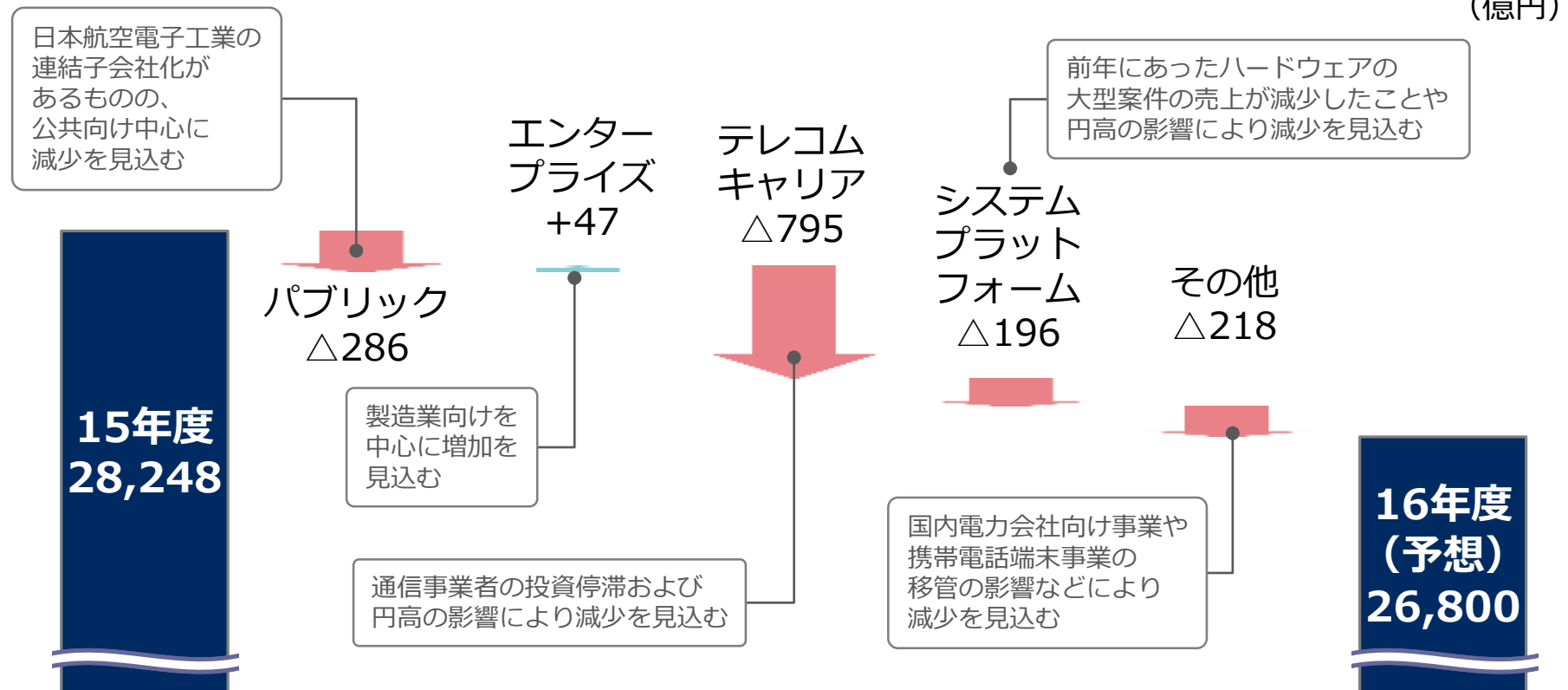


※ 予想値は、2017年1月30日現在

売上収益増減（前年度比）

通期予想

（億円）

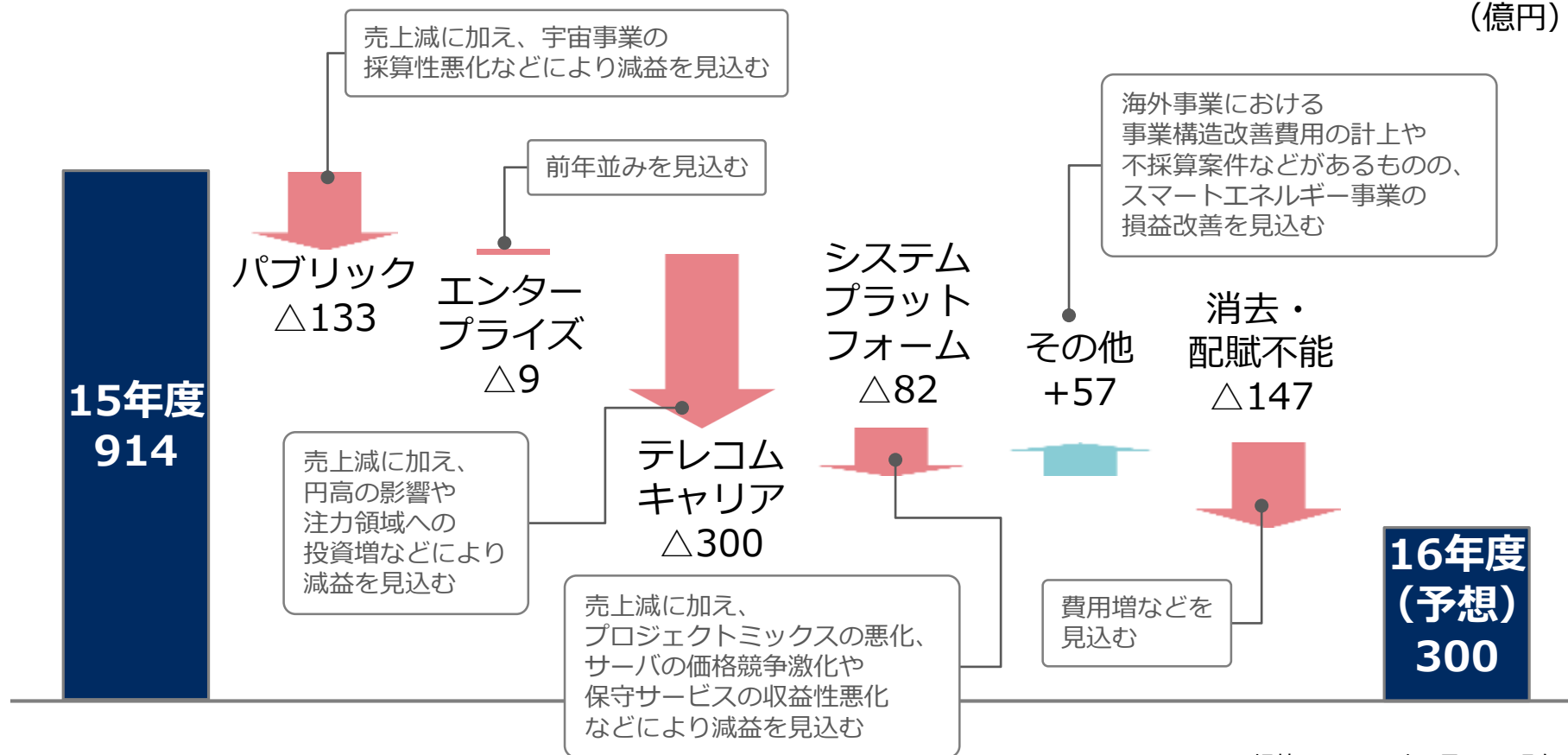


※ 予想値は、2017年1月30日現在

営業利益増減（前年度比）

通期予想

（億円）

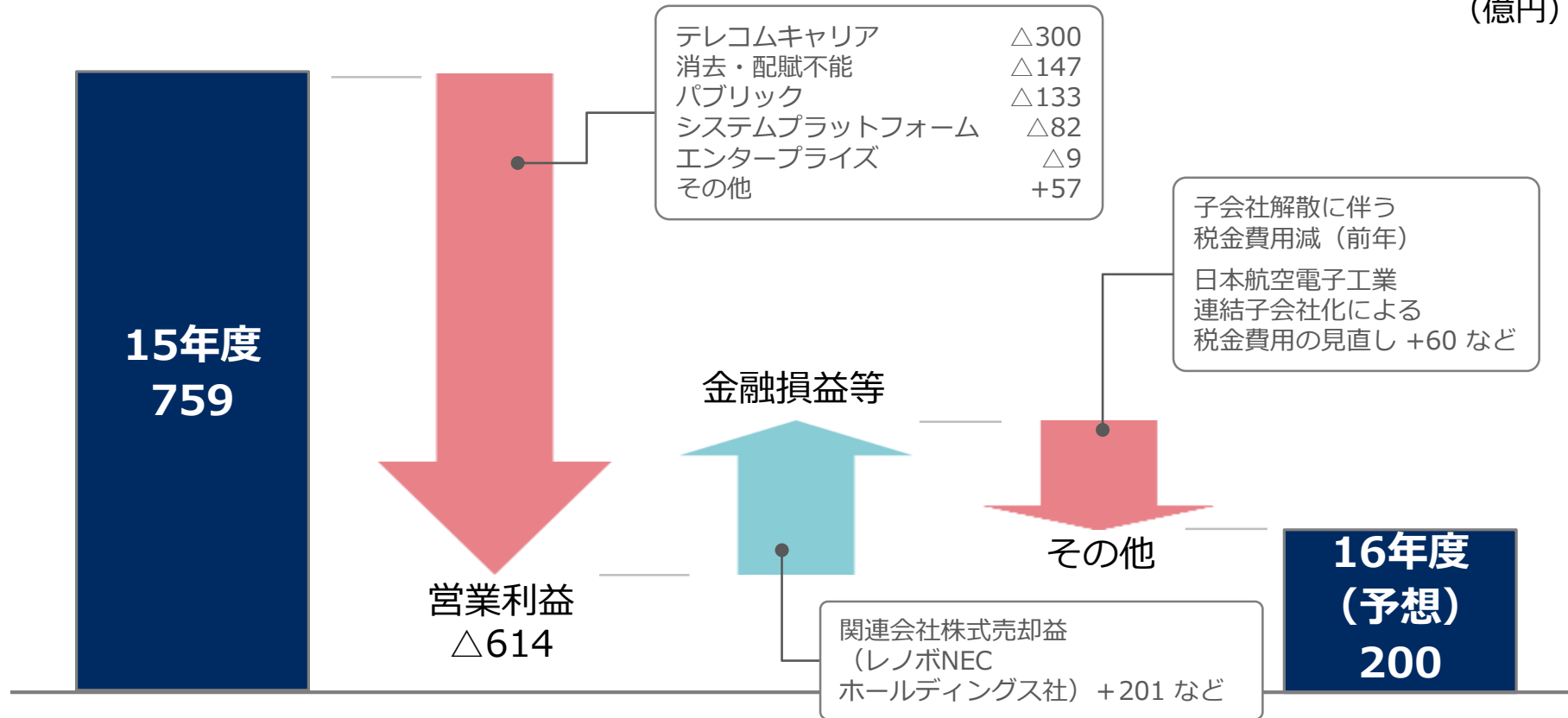


※ 予想値は、2017年1月30日現在

当期利益増減（前年度比）

通期予想

（億円）



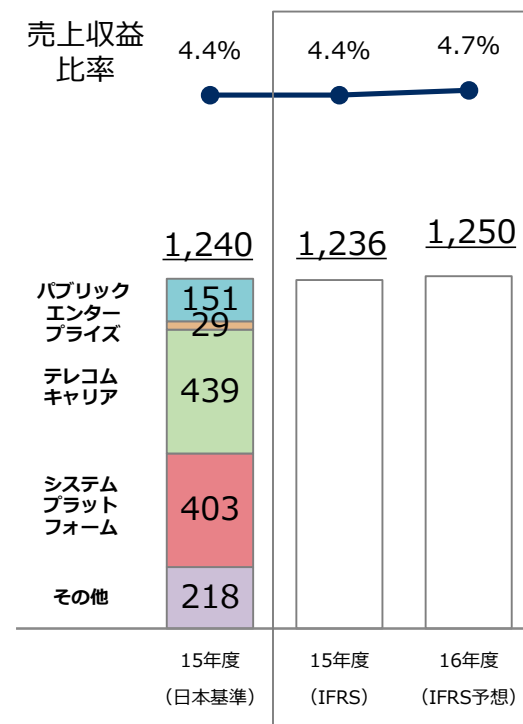
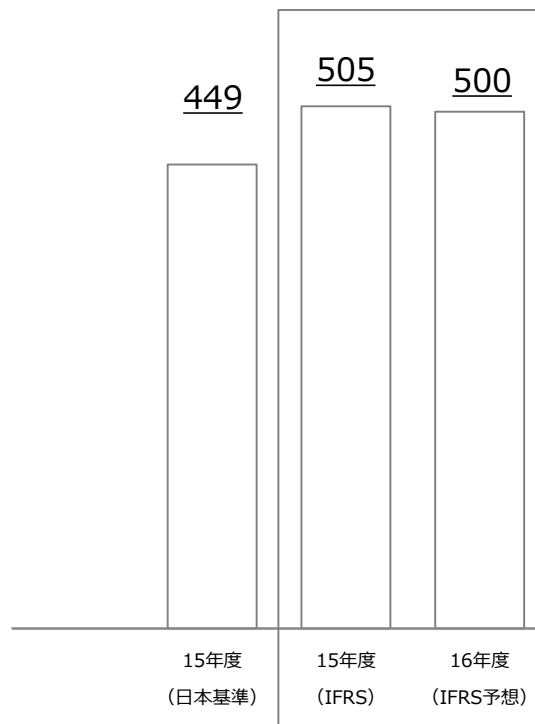
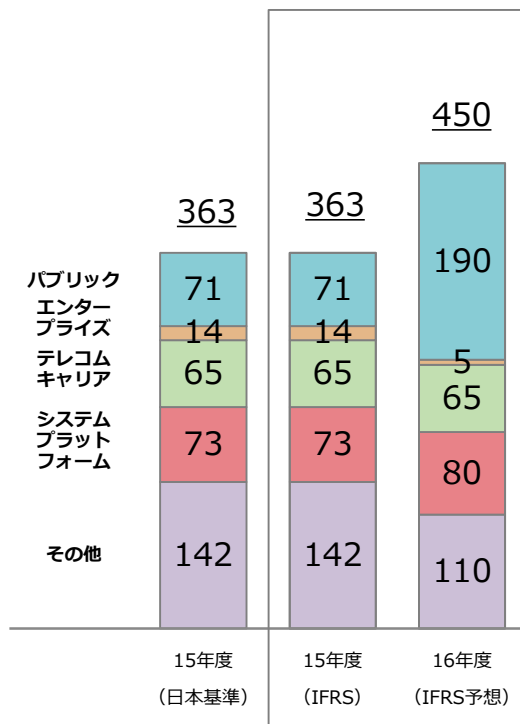
※ 予想値は、2017年1月30日現在

(億円)

設備投資額

減価償却費

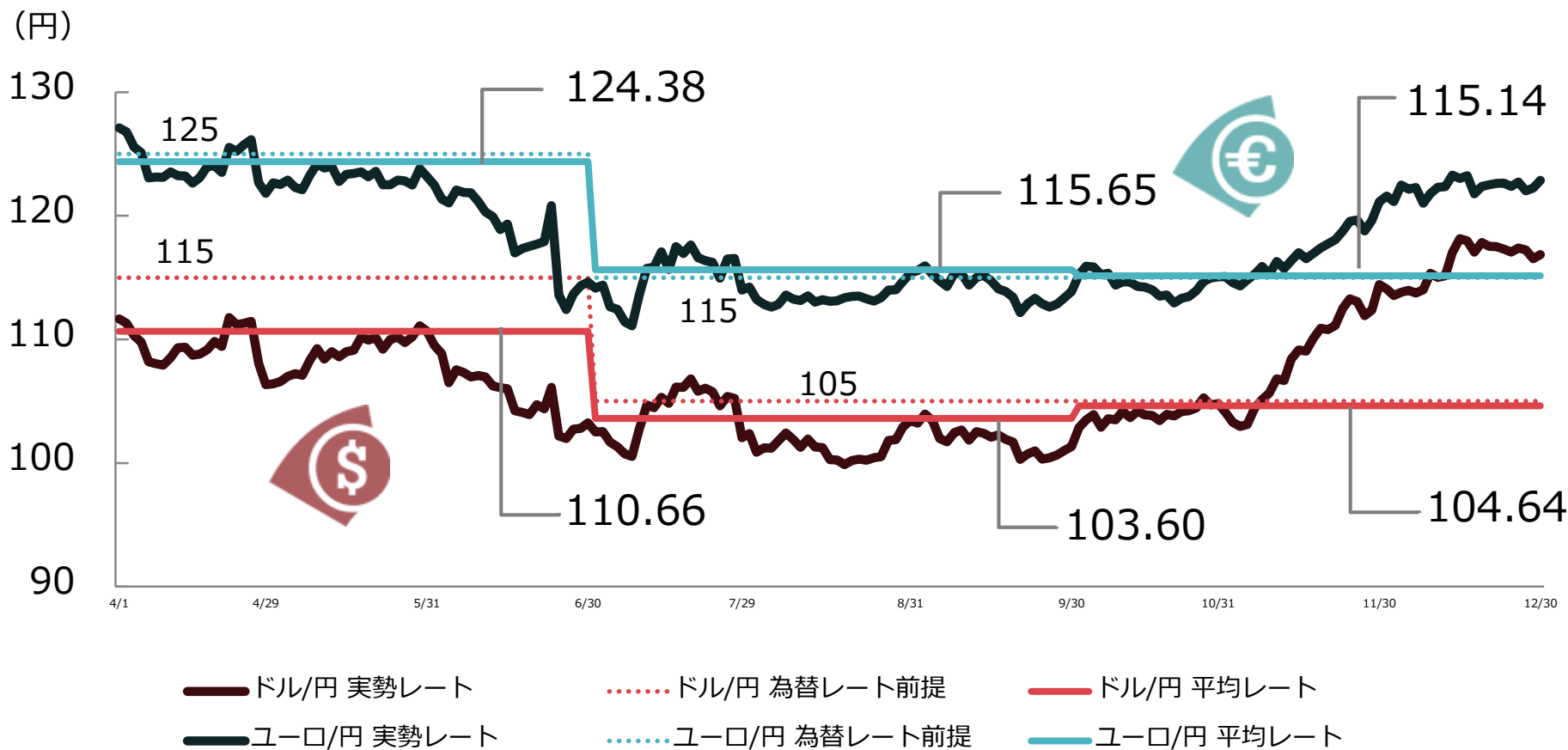
研究開発費



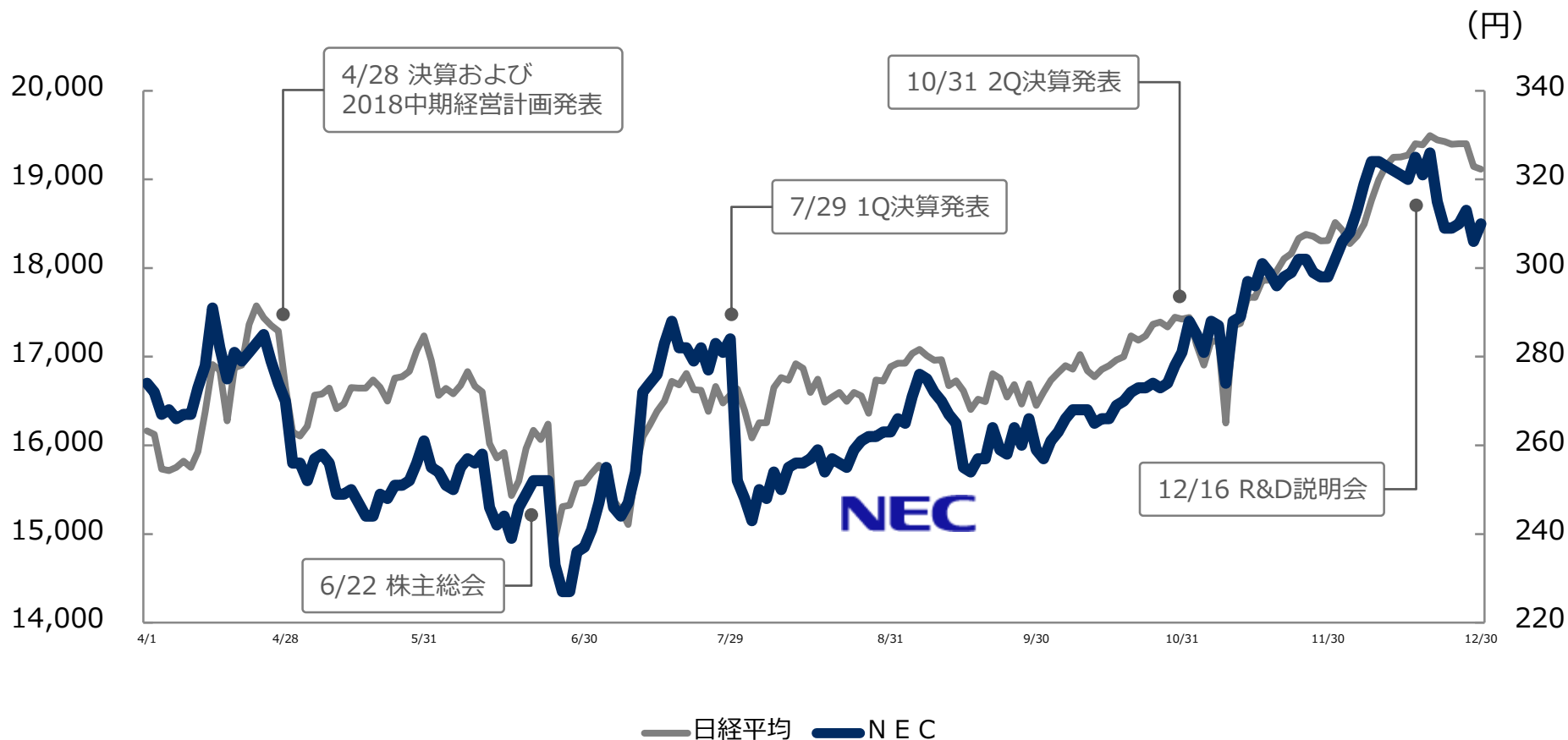
※ 予想値は、2017年1月30日現在

参考資料

為替レート推移



株価の推移



<将来予想に関する注意>

本資料に記載されているNECグループに関する業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいております。これらの判断および前提は、その性質上、主観的かつ不確実です。また、かかる将来に関する記述はそのとおりに実現するという保証はなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

- ・ 経済動向、市況変動、為替変動および金利変動
- ・ NECグループがコントロールできない動向や外部要因による財務および収益の変動
- ・ 企業買収等が期待した利益をもたらさない、または、予期せぬ負の結果をもたらす可能性
- ・ 戦略的パートナーとの提携関係の成否
- ・ 海外事業の拡大が奏功しない可能性
- ・ 技術革新・顧客ニーズへの対応ができない可能性
- ・ 製造工程に関する問題による減収または需要の変動に対応できない可能性
- ・ 製品・サービスの欠陥による責任追及または不採算プロジェクトの発生
- ・ 供給の遅延等による調達資材等の不足または調達コストの増加
- ・ 事業に必要な知的財産権等の取得の成否およびその保護が不十分である可能性
- ・ 第三者からのライセンスが取得または継続できなくなる可能性
- ・ 競争の激化により厳しい価格競争等にさらされる可能性
- ・ 特定の主要顧客が設備投資額もしくはNECグループとの取引額を削減し、または投資対象を変更する可能性
- ・ 顧客が受け入れ可能な条件でのベンダーファイナンス等の財務支援を行えない可能性および顧客の財政上の問題に伴い負担する顧客の信用リスクの顕在化
- ・ 優秀な人材を確保できない可能性
- ・ 格付の低下等により資金調達力が悪化する可能性
- ・ 内部統制、法的手続、法的規制、環境規制、税務、情報管理、人権・労働環境等に関連して多額の費用、損害等が発生する可能性
- ・ 自然災害や火災等の災害
- ・ 会計方針を適用する際に用いる方法、見積および判断が業績等に影響を及ぼす可能性、債券および株式の時価の変動、会計方針の新たな適用や変更
- ・ 退職給付債務にかかる負債および損失等が発生する可能性

将来予想に関する記述は、あくまでも本資料の日付における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じ得るものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、当社がこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

(注) 年度表記について、14年度は2015年3月期、15年度は2016年3月期（以降も同様）を表しています。